

Title	戸川秋骨著作目録稿
Sub Title	
Author	松村, 公子(Matsumura, Kimiko)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2006
Jtitle	三田國文 No.44 (2006. 12) ,p.29- 103
JaLC DOI	10.14991/002.20061200-0029
Abstract	
Notes	図削除
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20061200-0029">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20061200-0029</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 戸川秋骨著作目録稿

松村 公子

凡例

- 一、マイクロ版も含め、原本を確認出来た著作を掲載した。原本未確認の項目については、注記を附した。
- 一、各項目の記載順は、発行年月日、表題、分類、掲載誌及び巻号数、掲載ページ、戸川秋骨（秋骨、秋骨生）以外の筆名、発行者とした。単行本の表題はゴシック体で表記した。但し分類については、必要に応じて（ ）で示した。
- 一、表題の表記が、目次と本文の間で異なっている場合は、本文の表題を採用した。
- 一、必要に応じて、各項目の後に\*印を附して、注を加えた。
- 一、翻訳の原作者の表記は、一般に通用している場合を除き、原綴を採用した。
- 一、通しページ数でないものについては、\*一―二のように印をつけて示した。
- 一、秋骨以外の著作も併録されている場合は、総題の後に「ノウチ」を附した。
- 一、漢字は特別な例を除き、新字体を用いた。

明治二五年

九月	17	沙翁曲中の恋人(其一)(翻訳)	城東生	151-158
		沙翁曲中の恋人(其二)(翻訳)	城東生	159-166
一〇月	1	沙翁曲中の少女(翻訳)	城東生	167-174
十一月	12	沙翁曲中の少女(翻訳)	城東生	175-182
		パイロン卿の曼弗列度を論ず(上) 城東生	183-190	
		パイロン卿の曼弗列度を論ず(下) 城東生	191-200	
二月	24	パイロンとゲーテ(下)	署名なし	201-208

明治二六年

一月	14	日本の思想界に於ける情(上)	城東生	209-216
		日本の思想界に於ける情(下)	城東生	217-224
		女子撰拳権に関する古今卓説集(翻訳)	城東生	225-232
		女子撰拳権に関する古今卓説集(翻訳)	城東生	233-240

28 日本の思想界に於ける情(下) 文学雑誌(白表) 三三七

七―一〇 榎月生 文学雑誌社

二月 4 女子撰筆権に関する卓論集(二)(翻訳)

文学雑誌(赤表) 三三七

二二―二三 署名なし 文学雑誌社

三月 31 知心影に題す

\*一 榎月 文学雑誌社

31 英国騷壇の女傑ジョージイリオット

文学界 三

\*一―九 榎月 文学雑誌社

四月 29 花幻

\*一三 榎月 文学雑誌社

五月 31 俳人の性行を想ふ

\*一六―一九 榎月 文学雑誌社

九月 30 山家漫言

九―一二 文学界 九 文学界雑誌社

一二月 30 ゲーテの小河の歌を読む

六―八 文学界 二一 文学界雑誌社

明治二七年

一月 30 変調論

二―七 文学界 一三 文学界雑誌社

二月 28 花のゆくゑ

五―六 文学界 一四 文学界雑誌社

28 活動論

文学界 一四

六月 30 哀傷(俳句) 一七―二〇 文学界 一八 文学界雑誌社

一四 文学界 一八 文学界雑誌社

八月 30 迷夢

二〇―二二 文学界 二〇 文学界雑誌社

30 やぶにらみ其(一) 今の基督教

二七―二九 文学界 二〇 文学界雑誌社

九月 30 やぶにらみ(二) 日本評論の宗教論

文学界 二二

二九―三〇 長帆 文学界雑誌社

一〇月 30 罔影録

六一―一 文学界 二二 文学界雑誌社

30 秋風肅條記

三一―三二 文学界 二二 文学界雑誌社

一二月 30 秋窓夜話

二一―二三 文学界 二二 文学界雑誌社

明治二八年

一月 30 自然私観

一一―一〇 文学界 二五 文学界雑誌社

三月 30 歌祭文の曲を聴く

四―六 文学界 二七 文学界雑誌社

七月 30 気焔何処にある

一〇―一四 文学界 三一 文学界雑誌社

八月 30 松風

文学界 三二

九月 30 文学復興期の事を想ふ 二八一—二九 鷗水 文学界雑誌社  
文学界 三三三  
早川漁郎 文学界雑誌社

一月 30 夕顔及び玉かつらの巻 二五—二九 文学界 三五 鷗水 文学界雑誌社  
四月一八 読売新聞 合名会社日就社

一月 2 二日の旅 四 大日本図書株式会社  
九月 5 希臘及希伯來の思想管見 四三—四七 戸川秀骨 博文館  
一五五—一五八

明治二九年  
一月 10 近世の思潮を論ず 一—四 戸川明三 帝国文学 二一九  
大日本図書株式会社

五月 10 英詩評釈(一)〈ヘトーマス、グレイ及び其の春の歌〉 三一—三五 早川漁郎 文学界雑誌社  
少年文集 二一五 博文館

30 近年の文海に於ける暗潮 四四—四七 少年文集 二一五 博文館  
大日本図書株式会社

五月 10 英詩評釈(二)〈ヘトーマス、グレイ及び其の春の歌〉 三一—三五 早川漁郎 文学界雑誌社  
少年文集 二一五 博文館

26 以太利盛時の文学 五八—六〇 うらわか草 文学界雑誌社  
\*明治31年3月10日まで19回連載  
一〇月5 希臘及希伯來の思想管見(承前) 一五五—一五八 戸川秀骨 博文館

七月 10 英詩評釈(二)〈グレイの春の歌〉 五〇—五三 少年文集 二一七 戸川秀骨 博文館  
文学界雑誌社

25 磯の嵐(翻訳) 一〇八—一一一 文芸倶楽部 二一九 博文館  
博文館

30 伊太利文芸の主導者故サイモンツ氏(Frederic Harrison)の原 著の翻訳 六六—八一 早川漁郎 大日本図書株式会社  
帝国文学 二一八

10 英詩評釈(三)〈グレイの春の歌(つづき)〉 六六—八一 少年文集 二一八 戸川秀骨 博文館  
四三—四七 太陽 二一八 博文館  
一五五—一五八

10 英詩評釈(四)〈シエレー及び其の西風の賦〉 四四—四八 少年文集 二一九 戸川秀骨 博文館  
文学界 四五 文学界雑誌社

10 英詩評釈(五)〈シエレーが西風の辞〉 四四—四七 少年文集 二一〇 戸川秀骨 博文館  
文学界 四六 文学界雑誌社

一月3 恋愛に対する日本の小説と西欧の詩歌と

文芸倶楽部 二一三

25 塵影〔評論〕

四

門外生 合名会社日就社

一九〇一九三

博文館

30 懐旧

四

読売新聞 門外生 合名会社日就社

10 英詩評釈(六)〈シェレーの西風の賦〉

少年文集 二一一

24 二五

文学界 四九 文学界雑誌社

四五一四八

博文館

二月

1 塵影〔評論〕

四

読売新聞 門外生 合名会社日就社

二月7 塵影〔評論〕

四 読売新聞

門外生 合名会社日就社

8 塵影〔評論〕

四

読売新聞 門外生 合名会社日就社

\*明治31年6月27日まで60回連載

10 英詩評釈(七)〈シェレー及び其の西風の賦〉

少年文集 二一二

15 塵影〔評論〕

四

読売新聞 門外生 合名会社日就社

四三一四六

博文館

22 塵影〔評論〕

四

読売新聞 門外生 合名会社日就社

14 塵影〔評論〕

四 読売新聞

門外生 合名会社日就社

28 薄運

四

文学界 五〇 合名会社日就社

21 塵影〔評論〕

四 読売新聞

門外生 合名会社日就社

三月

1 塵影〔評論〕

六

七 読売新聞 門外生 合名会社日就社

29 塵影〔評論〕

一 読売新聞

門外生 合名会社日就社

8 塵影〔評論〕

四

読売新聞 門外生 合名会社日就社

明治三〇年

一月 11 塵影〔評論〕

四 読売新聞

門外生 合名会社日就社

10 英詩評釈(ヘルズブルス及び其の杜鵑の歌)(一)〈

少年文集 三一三

戸川秀骨 博文館

18 塵影〔評論〕

四 読売新聞

門外生 合名会社日就社

15 塵影〔評論〕

三〇

三三 読売新聞 門外生 合名会社日就社

20 塵影〔評論〕

四 読売新聞

22 塵影〔評論〕

四

読売新聞

29	塵影〔評論〕	四	門外生 読売新聞	合名会社日就社	3	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
31	ブローヴァンスの恋歌	四 一一八	門外生 文学界 五一	合名会社日就社 文学界雑誌社	10	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
四月	5 英文学と伊太利文学との關係	一一二―一一八	太陽 三一七	博文館	17	塵影〔評論〕	二七―二九	少年文集 三一六	博文館
5	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社	24	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
10	英詩評釈へラルズラルスの杜鵑の歌(二〇)	少年文集 三一四			31	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
12	塵影〔評論〕	二六―二九	読売新聞 門外生	博文館	31	暮春の辞	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
19	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社	31	革命の余波〔翻訳〕	三一六	文学界 五三	文学界雑誌社
20	主教ニコライ氏の宗教談	一七三―一七六	太陽 三一八	博文館	7	塵影〔評論〕	一九―二五	文学界 五三	文学界雑誌社
26	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社	9	塵影〔評論〕	三	読売新聞 門外生	合名会社日就社
30	革命の余波〔翻訳〕	二〇―二八	文学界 五二	文学界雑誌社	10	英詩評釈へラルズラルス少女の歌	一	少年文集 三一七	博文館
五月	1 中世史研究の趣味	二六―三一	世界之日本 一五	開拓社	21	坪内氏の牧の方を読む	二九―三一	戸川秀骨	博文館
	* 5月31日に続く								

七月	7	塵影〔評論〕	四	門外生 読売新聞	合名会社日就社	九月	6	塵影〔評論〕	五	読売新聞 門外生	合名会社日就社
	9	塵影〔評論〕	一	門外生 読売新聞	合名会社日就社		10	英詩評釈「ロバルト、バルンスの「人生嘆」の歌」	少年文集 三一〇	戸川秀骨 博文館	
	10	英詩評釈「ラルズラルスの少女の歌」(続)	一	門外生 少年文集	合名会社日就社		13	文界くさく(評論)	二四―二八	戸川秀骨 博文館	
	12	塵影〔評論〕	三―三四	戸川秀骨 読売新聞	博文館		20	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
	19	塵影〔評論〕	四	門外生 読売新聞	合名会社日就社		27	塵影〔評論〕	五	読売新聞 門外生	合名会社日就社
	26	塵影〔評論〕	四	門外生 読売新聞	合名会社日就社	一〇月	4	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
	31	イスラエル文学の詩趣(其の一)	一一―一六	門外生 文学界	合名会社日就社	七―一〇	10	英詩評釈「バルンスの人生嘆の歌」	七―一〇	文学界 五七	文学界雑誌社
八月	2	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	文学界雑誌社		10	英詩評釈「バルンスの人生嘆の歌」	少年文集 三一―二二	博文館	
	10	文芸に於ける女性	五二―六二	早川漁郎 帝国文学	合名会社日就社	二七―二九	11	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
	15	恋衣(一)(翻訳)		大日本図書株式会社 読売新聞	合名会社日就社		18	塵影〔評論〕	五	読売新聞 門外生	合名会社日就社
				鷗水生 読売新聞	合名会社日就社		25	塵影〔評論〕	四	読売新聞 門外生	合名会社日就社
						一一月	1	塵影〔評論〕		読売新聞	

\*10月8日までの間に47回連載。但し9月1、11、15、16、25、29、10月4日は休載

8	多情多恨と其の世評	四	門外生	合名会社日就社	一三一—一六	博文館
10	英詩評釈へバルンスの人生嘆の歌(続)	四	門外生	合名会社日就社	二六一—三二	文学界 五八 かげろふ 文学界雜誌社
15	塵影(評論)	三四—三六	少年文集	三十一—三	二一八	文学界 五八 文学界雜誌社
22	塵影(評論)	四	読売新聞	博文館	七	読売新聞
29	塵影(評論)	四	門外生	合名会社日就社	2	戸川明三 合名会社日就社
1—2月6	塵影(評論)	五	読売新聞	合名会社日就社	3	戸川明三 合名会社日就社
10	英詩評釈へバルンスの人生嘆の歌(続)	四	門外生	合名会社日就社	4	戸川明三 合名会社日就社
13	塵影(評論)	三〇—三六	少年文集	三十一—四	6	戸川明三 合名会社日就社
20	塵影(評論)	四	読売新聞	博文館	17	戸川明三 合名会社日就社
15	塵影(評論)	四	門外生	合名会社日就社	24	門外生 合名会社日就社
10	英詩評釈へ青年のミルトン及び其の救主降誕の詩	四	門外生	合名会社日就社	31	門外生 合名会社日就社
15	塵影(評論)	四	門外生	合名会社日就社	7	門外生 合名会社日就社
10	英詩評釈へミルトンの救主降誕の詩(一)	五	門外生	合名会社日就社	10	門外生 合名会社日就社



五月	9	塵影〔評論〕	四	讀売新聞 門外生	台名会社日就社	九月	1	文芸と人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	25	塵影〔評論〕	四	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	18	小説及び文芸俱樂部	五	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	14	塵影〔評論〕	四	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	21	時流文学と社会の二層	四	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	28	塵影〔評論〕	五	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	10	英詩評釈（ヘミルトンの救主降誕の詩（一））		少年文集	四—三						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	4	笛川氏の日本地氣論を読む	五	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	21	高山氏の世界文明史を読む	四	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	14	塵影〔評論〕	五	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
	4	英国詩壇の芸術的趣味	五	讀売新聞 門外生	台名会社日就社						
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院
						九月	1	文芸との人道の關係	四六一—四六五	戸川明三	中学書院

\*本文表題の表記を採用した。目次表題は「文芸と人道の關係」

四月 1 駄舌

明星(第二次) 四

三二一三三

東京新詩社

明治三三年

10 めをと(翻訳)

帝国文学 八一四

大日本図書株式会社

六月 30 西教の經典(論説)

学友会報 第八号

15 大蔵大臣(エミール・ゾラの原著の翻訳)

大日本図書株式会社

一二月 27 西教の經典(つゝ、き)(論説)

一 一五 戸川明三 山口高等学校学友会  
学友会報 第十号

一〇八一六四 文芸界 一一二

金港堂

八月 一五 戸川明三 山口高等学校学友会

五月 15 パウル、ブルジェーの新著

二二七一一八 文芸界 一一三

金港堂

明治三四年

一〇月 10 現代の士風及び学風

六月 15 科学的自然派の時代去り、博愛的トルストイの時代去り、野獸的マキシム、ゴルキーの時代来れり

文芸界 一一四

金港堂

一二月 20 サツプオーがしな変りたる恋の心を読みたる歌(抄訳)

一 一六

一 一六 戸川明三 大日本図書株式会社

八月 11 テニソンのアアサア物語

二二九一二三七 文芸界 一一四

金港堂

一二月 10 坪内博士の英文学史を読む

一 一〇一三二

一 一〇一三二 蒼梧洞主 大日本図書株式会社

九月 10 金色夜叉上中下篇合評(合評)

芸文 二

交友館

一月 1 煙草の頌

六三一六四

一月 1 明星(第二次) 一

10 金港堂小説叢書 第三冊ノウチ

早川漁郎 大日本図書株式会社

金港堂

二月 10 オリムパスの山頭にペテロとパウロとが下し、審判(翻訳)

一三四一三七

二月 10 帝国文学 八一二

一〇月 1 透谷全集(星野慎之輔編)ノウチ

序文 五一六

博文館

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

一 一五二〇

大日本図書株式会社

明治三六年

一月 1 今日のラファエル前派 (Percy Bates の原著の抄訳)

明星 (卯歳) 一

九一―九四

東京新詩社

10 球突 (アルフォンス・ドレード「月曜物語」の抄訳)

帝国文学 九一―

二七―三四

大日本図書株式会社

二月 10 近欧の傾向小説

帝国文学 九一―

一一―二二

戸川明三 大日本図書株式会社

三月 10 近欧の傾向小説 (承前)

帝国文学 九一―

一一―二八

戸川明三 大日本図書株式会社

15 文芸復興とロオマンチズム

文芸界 二一―四

一四六―一五五

金港堂

28 世捨人 (Robert L. Stevenson "Will o' The Mill" の訳註)

博文館・東京堂

二八―二九

四月 1 平田秃木君の西遊を送る

明星 (卯歳) 四

二四三―二四八

東京新詩社

10 机辺の小友

帝国文学 九一―四

二四三―二四八

大日本図書株式会社

九月 10 ソラの「真理」

帝国文学 九一―九

六七―七四

蒼梧洞主 大日本図書株式会社

明治三七年

二月 1 十九世紀の主要なる英詩に顕はれたる希臘神話

英文新誌 一一―一五

一―

戸川明三 英文新誌社

15 十九世紀の主要なる英詩に顕はれたる希臘神話 (其三)

英文新誌 一一―一六

一〇

戸川明三 英文新誌社

三月 1 十九世紀の主要なる英詩に顕はれたる希臘神話 (其三)

英文新誌 一一―一七

一一

戸川明三 英文新誌社

四月 1 時言三則 \* (其三)については本文表題表記のママ

一五―一六、一九―二〇

明星 (辰歳) 四

東京新詩社

明治三八年

一月 1 現英の写実小説

一八―二二

明星 (巳年) 一

六月 1 三個の金言

一〇八―一一二

少年世界 一一―一八

博文館

19 回顧の辞

一一九

学友会報 三〇

七月 15 村夫子の小文庫

四一―三三

戸川明三 丸善株式会社

一月 3 寒薔薇 (翻訳)

四一―三三

電報新聞 電報新聞社

\* 明治37年3月1日まで4回連載

\* 明治39年3月5日まで123回連載

一〇一八 春陽堂

明治三九年

一月 1 美術上の猫(一)

二二二六 光風 二一一 光風発行所

七六一九九 文章世界 一〇六 博文館

10 旗手軍曹(アルフォンス・ドーデー「月曜物語」の抄訳)

二二〇一 二九 光風発行所

15 齋藤緑雨(評伝) 一〇六一 博文館

二月 1 悪縁(ハーディ「メランコリイ・フツザ」の翻訳)

二二〇一 二九 大日本図書株式会社

九月 1 現時の新体詩の価値ノウチ 九 中央公論 二一九 反省社

三月 1 美術上の猫(二)

二〇七 二二〇 博文館

1 机上小観 四〇一 四七 中央公論 二一九 反省社

1 予の愛読書 一一一

一一一 八 光風 二一一 博文館

20 明治百家文選 全(久保天随編)ノウチ 五六一 六〇 芸苑 一〇 佐久良書房

四月 1 古典とは何ぞ

二二一 八 芸苑 四 光風発行所

10 豆粒物語 一一七 中学世界 九一 一三 博文館

1 机上小観

一一〇 一一三 中央公論 二二一 四 反省社

1 太平洋上の生活 二八一 四〇 芸苑 一一 佐久良書房

六月 1 机上小観

五一一 五七 中央公論 二二一 六 反省社

1 欧米旅行見聞録 四八一 五五 中央公論 二二一 二二 反省社

\* 9月1日まで4回連載

七月 1 机上小観

三四一 四〇 中央公論 二二一 七 反省社

1 非武士道論 二四一 三一 中央公論 二二一 一 反省社

八月 1 机上小観

三六一 四一 中央公論 二二一 八 反省社

明治四〇年

1 静平の文学及び活動の文学

一一一 八 新小説 一一一 八 反省社

1 ニューヨーク知事選挙の夕 中央公論 二二一 一 中央公論 二二一 一

- 六月十六日 反省社
- 二月 1 大西洋上の楽境 六六一六八 芸苑 二二二 佐久良書房
- 1 第二の故郷 六一一六四 趣味 二二二 彩雲閣
- 1 書牘三則(ハムブルクより)(書簡) 一一八一—一二二 明星(未歳) 二 東京新詩社
- 三月 1 北米大陸横断の記 七七 趣味 二二三 彩雲閣
- 1 欧米旅行見聞録へ巴里の夜景 一一—一八 中央公論 二二—二三 反省社
- 1 露西亜人 四六一—五一 芸苑 二二三 佐久良書房
- 15 外遊瞥見 六八一—七三 文章世界 二二三 博文館
- 四月 1 北米大陸横断の記(承前) 四三—四七 趣味 二二四 彩雲閣
- 1 自然を敵としたる文化と自然を友としたる文化 九五—九八 中央公論 二二—四 反省社
- 1 世界周遊 五一—六五 家庭文芸 一一四 金港堂
- 五月 1 西詞余情(翻訳・他) 一一〇—一一四 佐久良書房
- 1 大蔵大臣、薄運、球突、旗手軍曹、机辺の小友、革命の余波、 一〇—一四 彩雲閣
- オリムパスの山頭にベテロとパウロとが下し、審判、煙草の頌、  
従卒、めをと、悪縁
- 六月 1 近代文学の鳥瞰景(ロリエ「比較文学史」の抄訳) 二二—四 佐久良書房
- 1 最近英国詩壇の新風潮 一〇—一三 芸苑 二一五 新人社
- 1 東西文物の比較 一三一—一三六 新人 八—五 新人社
- 1 青年大会及び救世軍大会所感 六四—六五 中央公論 二二—五 反省社
- 1 高山樗牛氏 一九七—二〇七 中央公論 二二—五 博文館
- 1 ミッドウェー島回想録 二—八 太陽 一三一—六 東京新詩社
- 1 近代文学の鳥瞰景(ロリエ「比較文学史」の抄訳) 一九—二二 明星(未歳) 五 東京新詩社
- 1 大西洋東航日記 二五—一三〇 趣味 二一五 金港堂
- 1 太平洋東航日記 四九—五五 趣味 二一六 東京新詩社
- 15 美術館所感(「博覧会美術館概評」ノウチ) \*二五—三七 彩雲閣

							光風 三一一		
							光風発行所		
	28	米国の寄席 (寸観録ノウチ)	新潮 六一六				新潮社		
七月	1	近代文学の鳥瞰景 (ロリエ「比較文学史」の抄訳)	明星 (未歳) 七				東京新詩社		
				二一五					
	1	福沢先生 (明治故人評論 福沢諭吉翁) ノウチ	中央公論 二二一七				反省社		
				五七一六一					
	1	欧羅巴飛脚日記	趣味 二一七				彩雲閣		
				*七八一八九					
	1	雪満山ノウチ (アンケート回答)	新小説 一二一七				春陽堂		
				一八					
	25	何故に英国文学は日本に行はれざる歟	新潮 七一				新潮社		
				五一六					
八月	1	寧ろ不良教員を撰まん哉	中央公論 二二一八				反省社		
				五九一六四					
	3	(一) 引きうつり	東京朝日新聞				東京朝日新聞会社		
				六					
		* 「郊外生活」の総題で16回連載	東京朝日新聞				東京朝日新聞会社		
				八					
	5	(二) 鷄自慢	東京朝日新聞				東京朝日新聞		
				八					
	6	(三) 猫の俳味	東京朝日新聞				東京朝日新聞		
				六					
				23 (十五)			東京朝日新聞		
				六					
				22 (十四)			東京朝日新聞		
				六					
				20 (十三)			東京朝日新聞		
				六					
				19 (十二)			東京朝日新聞		
				六					
				16 (十一)			東京朝日新聞		
				六					
				14 (十)			東京朝日新聞		
				六					
				13 (九)			東京朝日新聞		
				六					
				12 (八)			東京朝日新聞		
				六					
				10 (七)			東京朝日新聞		
				六					
				9 (六)			東京朝日新聞		
				六					
				8 (五)			東京朝日新聞		
				六					
				7 (四)			東京朝日新聞		
				六					

- 24 (十六) 繚致と財産 東京朝日新聞 二二二二九 反省社
- 六 東京朝日新聞会社
- 九月 1 欧大陸飛脚日記 趣味 二一九 易風社
- 八三一九七 彩雲閣
- 1 英吉利思想 大陽 一三二二二
- 一一二一一二〇 博文館
- 1 金魚(小説) 中央公論 二二一九 反省社
- 一一三一一二七 反省社
- 1 東京遊学者の心得ノウチ 中央公論 二二一九 反省社
- 四〇 反省社
- 10 英語教授上の実験 中学世界 一〇一一一 博文館
- 二八三三五 戸川明三
- 一〇月 1 緑雨君(「明治故人評論 斎藤緑雨論」ノウチ) 中央公論 二二一一〇 反省社
- 八九一九〇 明星(未慮) 一〇 東京新詩社
- 1 平凡論 二二二四 文章世界 二一一一 博文館
- 1 叙事叙景の文章 一八一二六 新国民 六一一 大日本国民中学会
- 10 十九世紀の英雄 七一〇 大陽 一三二一四 博文館
- 1 高等学校の英語問題に関して当局の一説を煩はず 中央公論 二二一一一 博文館
- 五八一六六 中央公論 二二一一一
- 1 誤用せられたる高遠の真理
- 二三月 1 「明治学院」時代(談) 趣味 二二二二 易風社
- 三八一四三 新小説 二二一二二 春陽堂
- 1 外国思想と現代の教育 \*五一一五 中央公論 二二一二二 反省社
- 1 デモル問題 一四四一四七 反省社
- 17 虞美人草を読みて \*「モデル問題」の誤植カ 七 東京朝日新聞 東京朝日新聞発行所
- 明治四一年 一月 1 村の生活 五五一六〇 趣味 三一 易風社
- 1 愛読せる西洋の小説戯曲二十五名士ノウチ 二二二二 易風社
- 1 ステイヴンソンの小船旅行(翻訳) 明星(申慮) 一 東京新詩社
- \*7月1日まで3回連載 一七〇一七二
- 1 誤用され易き文芸上の論議 文章世界 三一二 博文館
- 10 西詞余情(三版) 二一九一二七 集文館
- \*明治40年5月発行の佐久良書房版と版型同一

- 三月
- 1 新思想としての自然主義 新人 九―三
- 1 必要なる性欲文学 中央公論 二二―三  
七―七四 反省社
- 15 欧米紀遊二万三千哩 服部書店
- 太平洋三十日記、北米大陸横断の記、太平洋東航日記、欧羅巴  
飛脚記行、太西洋西航日記、北米大陸逆行の記、太平洋帰航日  
記、付録 通信
- 四月
- 1 新興の文学は宗教の牙宮に切り込めり 中央公論 二二―四  
一一二―一六六 反省社
- 1 小船旅行記(ステイヴンソンの翻訳) 明星(申蔵) 四  
八六―八八 東京新詩社
- 15 英詩文評釈(一) オアズ河を下る記(ステイヴンソン) 文章世界 三一五  
六八―七四 博文館
- \*12月15日まで6回連載
- 15 二十八人集(田山花袋・小栗風葉編) ノウチ 新潮社
- 20 郊外生活 後編三七―五三 江湖 一一二  
三二―三七 江湖社
- 五月
- 1 電車哲学 趣味 三一五  
九一―九六 易風社
- 1 明治暗殺史の詩趣 中央公論 二二―五
- 9 禽獸即仏現在即永劫 二七―三六 反省社
- 23 晚春郊外の感 頁表記なし 東京二六新聞  
頁表記なし 二六社
- 六月
- 1 学校通ひ 三四―四一 帝国文学 一四―六  
1 徳富蘇峰氏(「徳富蘇峰論」ノウチ) 大日本図書株式会社  
中央公論 二二―六  
五七―六二 反省社
- 1 文壇重い葛籠 趣味 三一六  
\*五九―六六 易風社
- 15 英詩文評釈(評釈ドトヴァ海岸の歌(マシュウ・アノード)) 文章世界 三一八  
七六―八二 博文館
- 27 思潮漫言(上) (囚はれたる主義) 東京二六新聞  
六 二六社
- \*3回連載
- 28 思潮漫言(中) (時代の要求) 東京二六新聞  
六 二六社
- 29 思潮漫言(下) (雛に驚く牝鶏) 東京二六新聞  
六 二六社
- 七月
- 1 神様の進化 太陽 一四―一〇  
一一四―一二七 博文館
- 1 小船記行(ステイヴンソンの翻訳)



- 明星(申威)七  
東京新詩社
- 26-30  
3 学生時代の学科に対する名流の回想ノウチ  
江湖 一―四  
江湖社  
九月 1 生れ変らせると云つたらノウチ  
\*五六  
趣味 三―九  
易風社
- 15 大久保時代の独歩氏(独歩氏が小学校以来の経歴)ノウチ  
新潮 九―一  
新潮社  
1 一 顆涼ノウチ(アンケート回答) 新小説 一三―九  
春陽堂
- 15 英文学の特質(談)  
一三二―一三八  
慶應義塾学報 一三二  
博文館
- 15 英詩文評釈(オスカアワイルドの戯曲の一節)  
一四―二一  
慶應義塾学報発行所  
博文館
- 15 戦地へ行って討死する覚悟  
一一八―一二二  
文章世界 三―九  
博文館
- 15 余の読書  
五七―五九  
文章世界 三―一〇(臨時増刊)  
博文館
- 1 先生商売  
八四―八七  
新人 九―八  
新人社
- 5 郊外の住者(上)  
一五一―一八  
東京二六新聞  
新人社
- \*3回連載  
六  
東京二六新聞  
二六社
- 7 郊外の住者(中)  
六  
東京二六新聞  
二六社
- 8 郊外の住者(下)  
東京二六新聞  
二六社
- 15 英詩文評釈(四)  
六  
文章世界 三―一一  
博文館
- 15 英詩文評釈(五)ヘキングスレーの三漁夫の歌  
七六―七九  
文章世界 三―一二  
博文館
- 20 文科大学の英文学科問題につきて(二)  
東京二六新聞  
二六社
- \*4回連載  
六  
21 文科大学の英文学科問題につきて(二)  
東京二六新聞  
二六社
- 22 文科大学の英文学科問題につきて(三)  
東京二六新聞  
二六社
- 23 文科大学の英文学科問題につきて(四)  
東京二六新聞  
二六社
- 10月1 最近の小説壇ノウチ  
新潮 九―四  
新潮社
- 二九―三〇  
新潮社

10 通俗と専門

国民新聞

一 国民新聞社

十一月1 島崎君の不自然〔現代人物評論

島崎藤村論〕ノウチ

中央公論 二二一—二二一

五一—五三

反省社

1 読書雑感

文章世界 三一—四

八一—四

博文館

1 思想上の日英同盟と親露主義

早稲田文学 三六

\*一一—二

東京堂書店

1 銭湯の改築

趣味 三一—二

\*三五—四〇

易風社

5 女優、社会主義、而して儒教

明星(申歲) 一〇

一三八—一四二

東京新詩社

15 徳富蘇峰先生に贈りてアンナカレニナの情操を論ず

文章世界 三一—五

八四—八九

博文館

18 英文学講話

東亜堂書房

緒論、英国の詩祖「チヨウサア」、シエーキスピヤ、エリザベス時

代、スペンサー、文芸復興、ミルトル、小説家、アチソン、スウ

イフト、「ローマンチズム」「ナチュラリズム」、ウオーズウォル

ス、バイロン、シエレ、十九世紀の英文学、湖派詩人、キイツ、

スコット、ド・クインシー、ラム、千八百三十七年、ディッケン

ス、ピックウイック、サッカレー、リットン、キングスレー、「オ

ックスフォード、ムーブメント」、ニューマン、希臘思想・ヘブリ

ユイ思想、テニスン、ブラウニング、ロセツテイ、評論、雑誌、

マコーレー、カーライル、マシュー・アーノルド、ラスキン及び

其他の批評家、ブロンテ、エリオット、ステイヴンソン、人間の

獸生、英国の独創的長所、文学と科学

20 文壇諸名家雅号の由来ノウチ 中学世界 一一—一五

一七七—一七八

博文館

23 若い叔母さん(「葉女史追懐談」ノウチ)

国民新聞

25 時代私観(隨筆集)

国民新聞社

思想上の日英同盟と親露主義、明治暗殺史の詩趣、現代思潮の一

瞥、平凡論、英吉利思想、新思想としての自然主義、青年大会及

び救世軍大会所感、必要なる性欲文学、寧ろ不良教員を撰まん哉、

誤用せられたる高遠の真理、電車とイブセン、非武士道論、新興

の文学は宗教の牙宮に切り込めり、教育上注意すべき事実、外国

思想と現代の教育、机上小観(一)、自覚の苦悶(二)、基督教会は

時勢に後れたり(三)、伯爵大隈重信閣下(四)、自然に接するの機

五、所謂煩悶の側面観(六)、西園寺内閣の文政(七)、小説中の生

活問題(八)、文相の訓令出で、高野に女人登山の禁制解かる、博

覧会美術館所感、神様の進化、自然を友としたる文化と自然を敵

としたる文化、福沢先生、蘇峰先生に送りてアンナ、カレニナの

情操を論ず

二二月1 三宅先生(「現代人物評論 三宅雪嶺論」ノウチ)

中央公論 二二一—二二二

反省社

六六一—六七

国民新聞

8 「春」

一 国民新聞社

11 蘇峰先生の愛国説を怪む(上) 東京二六新聞

六 二六社

12 蘇峰先生の愛国説を怪む(下) 東京二六新聞

六 二六社

15 英詩文評釈(六) <自然と精霊>(ジェッフエリーズの「吾が心の物語の一節」)

文章世界 三一六

15 ミルトンの詩に就て 英語青年 二〇一六

一三八一—三九九(通巻) 英語青年社

15 丸善回顧 文章世界 四一一

10 室内旅行 読売新聞

七 合名会社日就社

1 近世英文学講話(一) 新声 二〇一一

一三三—一三六 隆文館

1 殿様の養鶏 一八八 趣味 四一一

一四一六 博文館

1 ラムの「新年の夕」(評釈) 英語世界 三一

四一六 博文館

1 殿様の養鶏 一八八 趣味 四一一

一四一六 博文館

1 近世英文学講話(一) 新声 二〇一一

一三三—一三六 隆文館

10 室内旅行 読売新聞

七 合名会社日就社

15 丸善回顧 文章世界 四一一

一七一一—一七五 博文館

15 霜の朝の戸山の原 火柱 二一一

三—五 ほのほ会

27 女優はどうなるかノウチ(談) 万朝報

一朝報社

28 小説の前途如何ノウチ(談) 万朝報

一朝報社

二月 2 文士推讃に就てノウチ(談) 東京毎日新聞

一 東京毎日新聞社

5 叢書(樋口秀雄編)ノウチ 時文六則、輪郭の文学、モデル問題、主義の看板、恋愛神聖と肉情文学、虞美人草を讀みて 日高有倫堂

二六七—二八五

\*大正7年、松本商会出版部より再版発行

12 誤られたる自我主義 東京毎日新聞

一 東京毎日新聞社

13 誤られたる自我主義 東京毎日新聞

一 東京毎日新聞社

三月 1 近世英文学講話(二) デイケッンス 新声 二〇一三

二二—二六 隆文館

\*本文の表題表記のママ

1 文士の見たる政治家ノウチ 大陽 一五一—四

一三〇—一三二 博文館

14 現代の建築(上) 読売新聞

一三〇—一三二 博文館

14 現代の建築(上) 読売新聞

一三〇—一三二 博文館

明治四二年

一月 1 京都大学論 中央公論 二四一一

四一—四九 反省社

1 ラムの「新年の夕」(評釈) 英語世界 三一

四一六 博文館

1 殿様の養鶏 一八八 趣味 四一一

一四一六 博文館

1 近世英文学講話(一) 新声 二〇一一

一三三—一三六 隆文館

10 室内旅行 読売新聞

七 合名会社日就社

15 丸善回顧 文章世界 四一一

- 七
- 15 現代の建築(下) 読売新聞 合名会社日就社
- 19 文学と語学(上) 国民新聞 合名会社日就社
- 16 文学と語学(下) 国民新聞 国民新聞社
- 17 文学と語学(下) 国民新聞 国民新聞社
- 28 蔵書の追想 読売新聞 合名会社日就社
- 四月
- 1 政治文学 一―一三 帝国文学 一五―四 大日本図書株式会社
- 1 時文雑談 \*一―六 趣味 四―四 易風社
- 1 英文学の健全なりといふ意義 二六―三一 早稲田文学 四― 東京堂書店
- 1 現代衣食住の大勢 五〇―五六 女学世界 九―五 博文館
- 1 非論理 二八―三二 女子文壇 五―五 女子文壇社
- 1 武士的と平民的(「作中に現れたる女性」ノウチ)(アンケート回答) 一七 女子文壇 五―五 女子文壇社
- 15 無心にならうと努める(「歩く時のさまざま」ノウチ) 文章世界 四―五 博文館
- 25 訳註近世英文学ノウチ 有朋堂書店
- レベッカ敵の面前に立つ(「サツカレー」原著の翻訳) 読売新聞
- 25 蝸牛角上の争 六 合名会社日就社
- 五月
- 1 文壇玩具箱 六四―六八 久保中人 易風社
- \*明治43年5月1日まで12回連載
- 1 ぐうたら先生(小説) 一―一〇 趣味 四―五 易風社
- 1 根底のある女の教育 四―四六 女学世界 九―六 博文館
- 1 近代的の意義 一五五―一六六 新小説 一四―五 春陽堂
- 1 外国文学の流行と短篇物 三五―三七 新潮 一〇―五 新潮社
- 1 英文学の特質 四九―五四 明治評論 一二―一五 明治評論社
- 1 オペラ其他(談) 七五―七七 演芸画報 三一―五 演芸画報社
- 1 文学の光榮なり 一三九―一四二 太陽 一五―六 博文館
- 1 余の田園生活 一〇―一二 ハガキ文学 六―五 精美堂
- 9 高商問題に関して蘇峰先生の教を乞ふ 読売新聞

- 六月 1 文壇玩具箱 六 合名会社日就社  
 趣味 四一六  
 \*二八―三四 久保中人 易風社  
 1 所感一二 新潮 一〇―六 新潮社  
 五八―五九  
 1 東西一致の点 美術之日本 一―二 審美書院  
 一五一―一九  
 七月 1 自然〔塵談〕ノツチ〔談〕 新小説 一四―七 春陽堂  
 二二五―二二七  
 1 田園生活〔G. Gissing の The Private papers of Henry Rye-croft / Spring の抄話〕 趣味 四―七 易風社  
 \*三一―四四  
 15 好きな性格ノツチ 秀才文壇 九―一五 文光堂  
 四三  
 18 トム・ジョーンズ〔Henry Fielding の原著の翻訳〕 学鑑 一四―一〔一三―一七の誤りカ〕 丸善株式会社  
 一―八  
 \*明治43年1月18日まで5回連載  
 22 二た昔前(一) 読売新聞 合名会社日就社  
 五  
 \*25日まで4回連載  
 23 二た昔前(二) 読売新聞 合名会社日就社  
 五  
 23 夏目漱石氏の文学評論を読む(一)(二) 三 東京二六新聞 二六新聞社  
 \*29日まで8回連載  
 24 二た昔前(三) 五 読売新聞 合名会社日就社  
 24 夏目漱石氏の文学評論を読む(三) 三 東京二六新聞 二六新聞社  
 25 二た昔前(四) 五 読売新聞 合名会社日就社  
 25 夏目漱石氏の文学評論を読む(四) 三 東京二六新聞 二六新聞社  
 25 貧乏論 六 読売新聞 合名会社日就社  
 27 夏目漱石氏の文学評論を読む(五) 三 東京二六新聞 二六新聞社  
 28 夏目漱石氏の文学評論を読む(六)(七) 三 東京二六新聞 二六新聞社  
 29 夏目漱石氏の文学評論を読む(八) 四 東京二六新聞 二六新聞社

八月

1 二葉亭四迷 (坪内逍遙・内田魯庵編) ノウチ 易風社

長谷川氏を懐ふ 下の四〇―四五

1 村医者 (ツルゲーネフ原著「獵人日記」の一節の翻訳) 趣味 四一―八

\* 一―一八

1 文壇玩具箱 趣味 四一―八 易風社

\* 二四―二九

1 招涼珠のノウチ (アンケート回答) 久保中人 易風社

小説 一四―一八

5 「獵夫日記」所感 (談) 春陽堂

\* 四〇―四一

5 政教一途論 東京毎日新聞社

一七―二二

10 天然美、人工美 (都会の夏と田舎の夏) ノウチ 現代 一―四

中学世界 二二―一〇

13 革新の意義 (一) 博文館

二九―三〇

14 革新の意義 (二) 東京毎日新聞社

\* 3 回連載

15 革新の意義 (三) 東京毎日新聞社

一

15 原稿料催促状 読売新聞

一

七月

18 トム・ジョーンズ (翻訳) 学鏡 一三―一八 合名会社日就社

1 森先生 (現代人物評論 森鷗外論) ノウチ 丸善株式会社

九月 1 中央公論 二四―一九

1 女学の反面 反省社

八七―八八

1 文壇玩具箱 女学世界 九一―一

八四―八八

1 獵人日記 (敵戸会同人と共訳) (ツルゲーネフの原著の翻訳) 趣味 四―九 博文館

\* 二二―一八

16 久保中人 易風社

\* 版型同一で近江屋書店版、成光館版あり。 昭文堂

22 幽霊の出る講座 (一) 国民新聞

23 幽霊の出る講座 (二) 国民新聞

1 政治と近代思想 大陽 一五―一三 国民新聞社

1 文壇玩具箱 趣味 四―一〇 博文館

1 一三一―一三五

9 私の感想 (附) 嗜好の果物 久保中人 易風社

\* 一六―二二

15 語学の精確と原作の味 文章世界 四一―一三 合名会社日就社

五

二二―二三

博文館

- 18 トム、ジョーンズ〔翻訳〕 学鏡 一三一—一〇〇  
丸善株式会社
- 30 文学者の見たる伊藤公の死〔談〕 東京二六新聞 二六新聞社  
四
- 十一月1 文学的教育の基礎如何〔早稲田文士の長短〕ノウチ〔談〕  
太陽 一五一—一四 博文館
- 1 文壇玩具箱 一三一—一三二  
趣味 四—二一 博文館  
\*二二—二二 久保中人 易風社
- 15 二度の試験に失敗〔余の二十歳前後〕ノウチ 文章世界 四—一五 博文館
- 20 芸術は人生の爲めの芸術なり 九八一—一〇〇 雑誌の雑誌 一—五 雑誌の雑誌社  
二〇—二二 読売新聞 合名会社日就社
- 28 郊外の一興 七 七 読売新聞 合名会社日就社
- 十一月1 本年中尤も興味を引きし(一)小説脚本(二)絵画(三)演劇  
〔アンケート回答〕 明治四三年  
一月1 徳田秋江君〔文壇相互評〕ノウチ 趣味 四—二二 易風社  
趣味 四—二二 易風社
- 1 文壇玩具箱 三六一—三七 趣味 四—二二 易風社  
\*一一—一六 東京朝日新聞 易風社
- 2 官学私学及文学(上) 東京朝日新聞 東京朝日新聞発行所  
三 東京朝日新聞発行所
- 3 官学私学及文学(中) 東京朝日新聞 東京朝日新聞発行所
- 4 官学私学及文学(下) 東京朝日新聞 東京朝日新聞発行所  
三 東京朝日新聞発行所
- 8 文学と政治の進歩 国民新聞 国民新聞社  
一 国民新聞 国民新聞社
- 9 文学と政治の進歩(二) 国民新聞 国民新聞社  
一 国民新聞 国民新聞社
- 18 トム、ジョーンズ〔翻訳〕 学鏡 一三一—二二  
丸善株式会社
- 18 トム、ジョーンズ〔翻訳〕 学鏡 一四—一 博文館
- 1 文壇玩具箱 二二—二四 趣味 五—一 易風社  
四—一四六 久保中人 易風社  
太陽 一六一—一 博文館
- 1 錢湯日記 二〇五—二二〇 博文館

27	薩摩汁	一―七	東京朝日新聞	丸善株式会社
			愚翁 東京朝日新聞発行所	
	文壇玩具箱	三	趣味 五―二	20 大学予科の試験〔名士の試験物語〕ノウチ
				中学世界 一三―四
				愚翁 東京朝日新聞発行所
二月				
1	文壇玩具箱	*一―七	易風社	
	能の面白味、其他	四―六	秀才文壇 一〇―四	五月
15			文光堂	1 文壇玩具箱
				二〇―二二
				趣味 五―五
				久保中人
				易風社
20	比較文学史（フレデリック・ローリエの原著の翻訳）		大日本文明協会	15 大いなる未成品〔東京の地と東京の女〕ノウチ
				女子文壇 六―七
				八―九
				東京朝日新聞
				26 郊外の文学
				三
				東京朝日新聞発行所
				六月
22	「べからず」	三	東京朝日新聞発行所	1 文壇玩具箱
				一五―二一
				趣味 五―六
				久保中人
				易風社
				七月
22	自然主義文学の範圍	一	国民新聞	1 文壇玩具箱
				一九六―二〇一
				趣味 五―七
				久保中人
				易風社
				七月
24	自然主義文学の範圍（二）	一	国民新聞	1 文壇玩具箱
				*二五―三〇
				新潮 一三一―
				三月
1	文壇玩具箱	一四―二〇	趣味 五―三	1 夏目漱石論ノウチ（談）
			久保中人	二二―八
			易風社	
				大陽 一六一―一〇
				四月
1	文壇玩具箱	六一―六七	趣味 五―四	1 江戶ッ子の顔
			久保中人	二〇五―二〇八
			易風社	
				大陽 一六一―一〇
				四月
1	実験告白及び想像の文学	一五七―一六四	新小説 一五―四	1 群雄割拠の文壇〔文壇の現況〕ノウチ（談）
				二〇五―二〇八
				大陽 一六一―一〇
				三月
14	さつま汁（上）	三	東京朝日新聞	7 芸術的作物の要件（上）
			愚翁 東京朝日新聞発行所	九七―九八
				東京朝日新聞
				博文館
				二月
16	さつま汁（下）		東京朝日新聞	



- 三
- 8 芸術的作物の要件(下) 東京朝日新聞発行所 15 ギッシングの文章(「私の好きな文章」ノウチ) 文章世界 五―一三 博文館
- 三
- 15 江戸ツ子と江戸の文学 あふひ 三 東京朝日新聞発行所 五五―五七 博文館
- 二五―二六 葵文会
- 八月 1 嶋崎藤村論ノウチ(談) 新潮 一三―二二 新潮社 6―八
- 5 英文学研究〈英文学史の選択〉 英語世界 四―九 博文館 無尽燈 一五―二一 無尽燈社
- 二一―八
- 5 英文学研究〈英文学史の選択〉 英語世界 四―九 博文館 \*目次表記は「猫の道德並に性欲」 中学世界 一三―一五 博文館
- 五―六
- 九月 5 英文学研究〈可笑味の英文学〉 英語世界 四―一〇 博文館 6―七
- \*大正2年5月1日まで31回連載
- 22 誤られたる現代の文学?(上) 東京朝日新聞 1 猫は食を争はぬ動物 新公論 二五―二二 博文館
- 三
- 23 誤られたる現代の文学?(下) 東京朝日新聞 1 文壇亥歳予想記(一) 国民新聞 1 文壇亥歳予想記(二) 国民新聞
- 三
- 東京朝日新聞発行所 六九 新公論社
- 一〇月2 読書の回想 読売新聞 明治四四年 一月 1 英文学研究〈倫敦郊外の文学〉 英語世界 五―一 博文館
- 九
- 5 英文学研究〈可笑味の英文学(二)〉 英語世界 四―一二 博文館
- 三八―四〇
- 8 銅像論(一) 国民新聞 1 文壇亥歳予想記(二) 国民新聞
- 1 銅像論(二) 国民新聞 15 英国現代の一流批評家 読売新聞 合名会社日就社
- 一
- 国民新聞 6 合名会社日就社

- 二月 1 英吉利文学所感 三田文学 二一二  
 一七二九 三田文学会
- 1 英文学研究〈英吉利の田園文学〉(ギッシンク) 英語世界 五一二  
 三三—三六 博文館
- 1 米国の美人と独仏の美人 美人画報 二一二  
 九一一 トリア社
- 15 エマソン論文集上巻〔翻訳〕 玄黄社  
 歴史論(History) 自恃論(Self-Reliance) 報償論(Compensation) 靈法論(Spiritual Laws) 恋愛論(Love) 友情論(Friendship) 細慮論(Prudence) 勇壯論(Heroism) 大靈論(The Over-Soul) 円環論(Circles) 智力論(Intellect) 芸術論(Art)
- 三月 1 英文学研究〈英吉利の田園文学〉 英語世界 五—三  
 一七—一九 博文館
- 19 笑のなき時代 読売新聞  
 六 合名会社日就社
- 四月 1 英文学研究〈ジェツフェリーズ〉 英語世界 五—五  
 二八—三〇 博文館
- 五月 1 英文学研究〈ミットフォード女史〉 英語世界 五—六  
 二〇—二二 博文館
- 1 恋愛は生存競争に屈伏する 婦人くらぶ 四—五  
 一八一 紫明社
- \*「婦人くらぶ」総目次による。正確な頁数は不明
- 六月 1 英文学研究〈紀行文 アーサーシモンズ氏〉 英語世界 五—七  
 一〇—一二 博文館
- 1 文芸委員会私見(「文芸委員会の真価如何」ノウチ) 中央公論 二六—六  
 八六—九〇 反省社
- 七月 1 英文学研究〈紀行文 アディントン・サイモンズ〉 英語世界 五—八  
 二二—二四 博文館
- 30 謡曲の「是界」と「失樂園」の悪魔 国民新聞  
 一 国民新聞社
- 八月 1 謡曲の「是界」と「失樂園」の悪魔(二) 国民新聞  
 一 国民新聞社
- 1 英文学研究〈紀行文 サイモンズ氏〉 英語世界 五—九  
 一〇月 1 英国に於ける自然文学 文章世界 六—三  
 三〇—三一 博文館
- 十一月 1 外国文芸の影響 新潮 一五—五  
 七五—七七 新潮社
- 1 英文学研究〈紀行文 ステイヴンソン〉 英語世界 五—三  
 三二—三五 博文館

- 一二月 1 自然主義から耽美主義へ(談) 早稲田文学 七三 東京堂書店  
 二一―二三  
 1 英文学研究へ紀行文 ステイヴンソン 英語世界 五一―四 博文館  
 三六―三八  
 10 銀座通り 七 読売新聞 合名会社日报社  
 七 能楽 九―一二 能楽館  
 10 形式美の底に潜める力 三八―四一 能楽館
- 明治四五年**  
 一月 1 英文学研究へ政治家の文学 英語世界 六一― 博文館  
 五一―六  
 1 当座帳(随筆) 三田文学 三一― 三田文学会  
 二五八―二六五 白鼠 三田文学会  
 \*当該号の消息欄、目次の執筆者名、続く2月、3月号の内容から「白鼠」は秋骨の筆名であると推測する。3月1日まで3回連載  
 10 エマソン論文集下巻 玄黄社  
 詩人論(The Poet) 経験論(Experience) 人格論(Character) 作法論(Manners) 進物論(Gifts) 自然論(Nature) 政治論(Politics) 名目論者及美在論者(Nominalist and Realist) 新英州之改革者(New England Reformers)  
 二月 1 英文学研究へ政治家の文学 ション・モーレー卿 英語世界 六一―  
 1 当座帳(随筆) 三二―三四 三田文学 三一―二  
 一四九―一五六 白鼠 三田文学会  
 三月 1 英文学研究へフレデリック・ハリソン 英語世界 六一―三 博文館  
 二一―二四  
 1 当座帳(随筆) 三田文学 三一―三  
 二四―二五〇 白鼠 三田文学会  
 24 影のない人 六 読売新聞 合名会社日报社  
 一九―二〇 やまと新聞 博文館  
 11 面白い作物 一 やまと新聞 博文館  
 1 英文学研究へ歴史文学 フールド 英語世界 六一―六 博文館  
 五一―七  
 1 有害無益のもの(「子が文芸委員ならば?」ノウチ) 新潮 一六一―五 新潮社  
 五六  
 六月 1 英文学研究へ歴史文学 フールド 英語世界 六一―七 博文館  
 五―七  
 30 万年筆の印象と図解カタログノウチ 丸善株式会社  
 二万三千哩の万年筆 六一―九

七月 1 英文学研究〈歴史文学 フルード(続)〉

英語世界 六一八

博文館

1 和洋趣味雑感

八一

趣味 六一五

新潮社

10 英文雑誌と文学

英語世界 六一九(増刊)

博文館

1 英文学研究〈伝記文学 ミルの自叙伝〉

二五―二七

趣味社

八月 1 英文学研究〈歴史文学 グリーン/エリザベスとメリー〉

英語世界 六一〇

博文館

九一―

英語世界 六一―四

博文館

1 都会と田園とノウチ(談)

早稲田文学 八一

東京堂書店

大正二年

1 英文学研究〈現代の英詩〉

二一―二三

英語世界 七一―

博文館

大正元年

九月 1 英文学研究〈歴史文学 グリーン/エリザベスとメリー〉

英語世界 六一一

博文館

一一―一三

英語世界 七一―二

博文館

1 両隣

二一―二三

ホトトギス 一五一―二

博文館

1 演劇素人観

五二―五五

演芸画報 七一―二

演芸画報社

一〇月 1 英文学研究〈伝記文学〉

二八―三〇

英語世界 六一二

博文館

3 近代思想界の変遷〔Hector Macphersonの翻訳〕

一〇―一二

博文館

十一月 1 英文学研究〈伝記文学 ミルの自叙伝〉

英語世界 六一三

博文館

戸川明三

大日本文明協会事務所

1 記憶すべき事跡と注目に値すべき奇観〔明治の文壇及び劇壇に

於て最も偉大と認めたる人物事業作品〕ノウチ

博文館

四月 8 文芸の鑑賞

五

読売新聞

合名会社日就社

五月 1 英文学研究〈宗教文学〉

英語世界 七一六

三二—三四  
1 翻訳劇上場問題  
博文館

大正演芸 一一五  
大正演芸社

六月 2 植民地の生活と思想の自由  
朝鮮公論 一一三  
朝鮮公論社

五四—五五  
朝山書店

七月 15 そのまゝの記〔隨筆集〕  
凡人生活（引うつり、鶏自慢、猫の俳味、桜を切る人、坐ながらの避暑、移民の三種、金二銭五厘、日本唯一の社交場、悪い事は出来ぬえもので、貧と恋・冷と熱、愚劣な動物、最も幸福なる犬、郊外一日の行事、再び鶏自慢、縹致と財産、場末）、霜の朝の戸山の原、春の大久保村（躑躅の時節、村芝居、村の交際、清浄な郊外）、雑司谷の芋団子、謡曲の会、学校通ひ、郊外の住者、銀座通り、二た昔前、丸善回顧、電車哲学、貧乏論、郊外日記、銭湯日記、くうたら先生、金魚

八月 1 批評家と作家と  
文章世界 八一—〇  
博文館

六六—六七  
二一〇号記念催能について（二）  
ホトトギス 一六一—六  
博文館

四七  
13 慶應義塾 東京講演集ノウチ  
一—三二  
慶應義塾出版局

文芸の鑑賞  
一家言——宗教対芸術ノウチ  
六合雑誌 三三—九  
統一基督教弘道会

一—月 15 現代文芸叢書第三十一編（オスカア・ワイルド）（和氣律次郎訳）ノウチ  
嫌な心持のするワイルド〔序文〕 九—一四  
春陽堂

大正三年

二月 1 パリの島崎藤村君に  
塔 二—二

最近の文壇  
一一九  
塔社

8  
六  
社会と文学  
四  
読売新聞  
合名会社日就社

四月 23  
四  
文学と思想と  
四  
読売新聞  
合名会社日就社

五月 1  
四  
4 ダントンの「エイルキン」  
四  
読売新聞  
合名会社日就社

七月 1 英文学の現況  
一一—一五  
文章研究録 七  
目黒書店

八月 1 如是観  
一八一—二〇  
能楽 三一—八  
能楽発行所

9 正面描写と裏面描写  
四  
読売新聞  
合名会社日就社

15 趣味と好尚ノウチ  
一〇八一—〇九  
文章世界 九—九（臨増）  
博文館

15 哀史 上巻（泰西名著文庫第參冊）  
（ヴィクトル・ユゴーの原著、レ・ミゼラブルの翻訳）  
文章世界 九—九  
国民文庫刊行会

15 英吉利の自然小品  
四〇—四四  
文章世界 九—九  
博文館

17 会遊の涼味ノウチ  
読売新聞

一二月 15 袁史 中巻(泰西名著文庫第參冊)

合名会社日就社  
国民文庫刊行会

\* 『三田國文』四十二号「戸川秋骨年譜稿」で、「大正三年十一月『袁史』下巻を上梓」と記載したが、本記述に訂正。

大正四年

一月 18 余材抄(少年ウォッツ・ダントンの事)

学鑑 一九一二  
丸善株式会社

\* 4月20日まで3回連載

二月 10 比較文学史(大日本文明協会訳)

文明書院

\* 明治43年2月の大日本文明協会版の再刊、版型同一。序文に戸川秋骨訳の旨を記す

三月 1 淡彩的芸術

三田評論 二二二  
三田評論発行所

1 大乱に際して

二八―三三  
三田文学 六一三  
三田文学会

20 余材抄

一八七―一九三  
学鑑 一九一六  
丸善株式会社

四月 20 余材抄

一―五  
学鑑 一九一八  
丸善株式会社

五月 1 大乱に際して(両交戦国の文学)

三田文学 六一五  
三田文学会

12 英文学精講

英文学史の選択、可笑味の英文学 (I. G. K. Chesterton, II. Jerome K. Jerome, III. Leigen Humt, IV. Charles Lamb) / 田園文学 (I. 緒論 II. Gissing, III. Richard Jefferies, Miss Mitford) / 紀行文 (I. Arthur Symons, II. Addington Symonds, Stevenson) / 政治家の文学 (I. 緒論 II. John Morley, III. Frederic Harrison) / 歴史文学 (I. 緒論 II. Froude, III. Green) / 伝記文学 (I. 緒論 II. Mill's Autobiography, III. Cardinal Newman) / 文芸評論 (I. 緒論 II. Walter Pater) / 小説 (I. Theodore Watts-Dunton) / アイルランドの運動 (I. William Butler Yeats, II. George Moore) / 雑文学 (I. Oscar Wilde, II. Andre W. Lang) / イギリスの雑誌 / イギリスの小説二十五種

15 英文学と政治思想 / 国民講壇 第五号 / 大学普及会

ome K. Jerome, III. Leigen Humt, IV. Charles Lamb) / 田園文学 (I. 緒論 II. Gissing, III. Richard Jefferies, Miss Mitford) / 紀行文 (I. Arthur Symons, II. Addington Symonds, Stevenson) / 政治家の文学 (I. 緒論 II. John Morley, III. Frederic Harrison) / 歴史文学 (I. 緒論 II. Froude, III. Green) / 伝記文学 (I. 緒論 II. Mill's Autobiography, III. Cardinal Newman) / 文芸評論 (I. 緒論 II. Walter Pater) / 小説 (I. Theodore Watts-Dunton) / アイルランドの運動 (I. William Butler Yeats, II. George Moore) / 雑文学 (I. Oscar Wilde, II. Andre W. Lang) / イギリスの雑誌 / イギリスの小説二十五種

29 エイルキン物語(英国近代傑作集 上巻) (翻訳) / 国民文庫刊行会

七月 1 夏期休暇存廃に就てノウチ(アンケート回答) / 中学世界 一八一―九

14 この夏はノウチ / 読売新聞

1 30 nen mae no onnoide / ROMAJI X NO MAKI / DAI 8 GO / Togawa Shokotsu / ローマ字ひろめ会

1 大乱に際して / 三田文学 六一八 / 三田文学会

1 大乱に際して / 一四一―一五〇 / 国民講壇 第五号 / 大学普及会

\* 原本未確認。記載は大正4年8月15日付「東京日日新聞」一面に掲載されている「国民講壇」第5号の目次による。ページは不明

九月 3 The Private papers of Henry Rycroft (George Gissing の原著の註解)

先覚 全 (D.S. Merezhkovshi の原著の翻訳) 国民文庫刊行会

先覚 (世界名作大観 第11部附録 第九卷) 国民文庫刊行会

\* 大正4年9月10日版の改版、版型は異なる。  
哀史 下巻 (泰西名著文庫第参册) 国民文庫刊行会

大正五年

一月 1 見当がつかかねる(「文学者とローマ字」ノウチ)

ROMAJI 一―一  
ローマ字ひろめ会

二月 1 芸術欲と所謂生活難 三田評論 二二三 三田評論発行所

十日物語 (泰西名著文庫) (ボッカチオの原著の翻訳) 国民文庫刊行会

四月 1 アナトオル・フランスの思想 三田文学 七―四 三田文学会

六月 1 発売禁止の恐れなき文芸の価値 三田文学 七―六 三田文学会

七月 1 翻訳不可能論 三田文学 七―七 三田文学会

20 翻訳の仕方と名家翻訳振 (東草水編)ノウチ 実業之日本社  
断崖の一少年 (「エイルキン物語」の一節の翻訳) 二六三―二七八

八月 15 上田君の訃報に接して 英語青年 三五―一〇 英語青年社

九月 1 故上田敏博士 英語界 三一九 英語界社

20 文章即ち人生 四四九 日本及日本人 六八九 政教社

大正六年

一月 2 夏目漱石氏と英文学 新小説 二二―二(臨時号)・文豪夏目漱石 春陽堂

三月 1 芸術私言 二九―三五 三田評論 二二六 三田評論発行所

18 エマソン全集第八卷(人生論 全) (翻訳) 国民文庫刊行会

エマソン小伝、宿命 (Fate)、権力 (Power)、富力 (Wealth)、修養 (Culture)、行状 (Behavior)、礼拝 (Worship)、随想余録 (Considerations by the Way)、美感 (Beauty)、幻想 (Illusions)

四月 20 十日物語に就て(上) 学鏡 二二―八 丸善株式会社

\* 6月20日まで3回連載

五月 20 十日物語に就て(中) 学鏡 二二―一〇 丸善株式会社

- 29 エマソン全集第四卷(社交及孤独)〔翻訳〕 国民文庫刊行会  
 社交及孤独 (Society and Solitude) / 文化 (Civilization) / 芸術 (Art) / 能弁 (Eloquent) / 家庭生活 (Domestic Life) / 農業 (Farming) / 事業々日々 (Works and Days) / 書物 (Books) / 倶楽部 (Clubs) / 勇氣 (Courage) / 成功 (Success) / 老年 (Old Age) /  
 六月 1 外人の日本能の研究 新小説 二二一七 春陽堂  
 九三一〇一  
 1 官憲国の文学 三田評論 二二二九  
 七一〇 三田評論発行所  
 20 十日物語に就て(下) 学鏡 二二一二 丸善株式会社  
 八一四  
 七月 15 都会生活者の採り容れ得べき自然生活味 中央公論 三二一八(臨時増刊)  
 一四一 戸川明三 中央公論社  
 九 25 エマソン論文選集 阿蘭陀書店  
 大正七年  
 一月 1 ポンテオ・ピラト 三田文学 九一  
 一〇九一一五 三田文学会  
 30 エマソン全集第七卷(自然論・演説及講演)〔翻訳〕 国民文庫刊行会  
 小序、序言、第一章・自然 (Nature) / 第二章・便利 (Commodity) / 第三章・美 (Beauty) / 第四章・言語 (Language) / 第五章・訓練 (Discipline) / 第六章・観念 (Idealism) / 第七章・心靈 (Spirit) / 第八章・予望 (Prospects) / アメリカの学 (The American Scholer) / 演説 (Address) / 文学上の倫理学 (Literary Ethics) / 自然の法式 (The Method of Nature) / 改革者々々の人 (Man the Reforme) / 時事講話 (Lecture on the Times) / 保守家 (The Conservative) / 超絶論者 (The Transcendentalist) / 若き亜米利加人 (The Young American) /  
 一月 1 素人の建築観 三田評論 二四四  
 一七一〇 三田評論発行所  
 1 二月 1 冬の朝 文明 二一  
 表紙裏(目次下) 榎山書店  
 30 エマソン全集第六卷(文学及社会)〔翻訳〕 国民文庫刊行会  
 詩と想像力 (Poetry and Imagination) / 社会の目的 (Social Aims) / 雄弁 (Eloquence) / 資力 (Resources) / 滑稽 (The Comics) / 引用と原作 (Quotation Originality) / 教化の進歩 (Progress of Culture) / ヘルシヤの詩 (Persian Poetry) / 靈感 (Inspiration) / 偉大 (Greatness) / 靈魂不滅 (Immortality) /  
 1 野口君の日本詩歌無声論 帝国文学 二四一  
 二四一二一八 ミツワ文庫発行所  
 1 佐々君の追想 演芸画報 五一  
 一九三一一九五 演芸倶楽部  
 1 習慣に一任せる英吉利 中外 二一一  
 二七一一二七六 中外社



\* 英語文学を評すノウチ

English Times

英語精習社

一〇月 1 汚い美術

二〇―二四

三田評論 二二五

三田評論発行所

\* 原本未確認。記載内容は『英語青年』（大正7年2月1日発行）掲載の「新聞雑誌英学一覽」による。正確な日付、巻号数不明

三月 1 故ブレイフエヤア教授の追憶

三田文学 九―三

大正八年

一月 1 靈魂不滅論（エマーソンの翻訳）

英語文学 三一―

四月 1 文章を学ぶ青年に与ふる語（座右銘）ノウチ

中央文学 二―四（二周年記念号付録）

三月 1 雪の窓にて

一四―一九

三田文学 一〇―三

緑葉社

二十年前の回顧

戸川明三 英語青年 三九―二

春陽堂

五月 1 デモクラシイの涙

五三―五七

三田評論 二六―二

三田評論発行所

15 オリヴァ・クロンウエル（英傑伝叢書第四編）  
（トマス・カアライル「クロンウエル書翰並に演説」の抄訳）

実業之日本社

六月 1 「桜の実の熟する時」の事

四三―五二

三田文学 一〇―六

三田文学会

六月 1 記憶を辿りて

三田文学 九―六

5 チヨン樞の回顧

一八―二一

英語文学 三一―九

緑葉社

八月 10 武蔵野会（談）

一〇八―一一四 読売新聞

三田文学会

一〇月 1 ユニオン第四読本

三一―五

英語界 六一―〇

英語界社

九月 10 獵人日記（ツルゲーネフの原著の翻訳）

大鏡閣

一二月 1 ノオト・ブックより  
東海岸の日没、秋天に囀る雲雀、キングレクの痛言、ジヨソンの警句

18 若からんと欲する心

国民新聞

国民新聞社

一六―一九

緑葉社

19 英吉利文学所感

三田新聞

三田新聞学会

大正九年  
一月 1 東海岸の日没

英語界 七一―

二月 10 ノオト・ブックより 二七 英語文学 四一—二 英語界社

デイ・クインジイ雑誌、欧州人の髪の色白、グラッドストオンの  
アメリカ文明論 一八一—二一 緑葉社

三月 1 米の飯と国風 二二—二六 三田評論 二七—二 三田評論発行所

21 英文和訳は 般時事問題を難句は出さぬ〔談〕 三田新聞 三田新聞学会

三 三田新聞学会

\*表題の表記は、「般」の前が一時分空白になっている

25 田園の春 (Gissing's The Private papers of Henry Ryecroft  
の訳注) アルス

四月 1 クラットストオンの垂米利加文明論 英語界 七一—四 英語界社

二—四 英語界社

\*表題表記は原本の表記のママ

七月 5 ノオト・ブックより 英語文学 四一—七

ピクキックと和合人、煙草を飲む事、耳が痛い、鶏口となるも牛  
後となる勿れ 三七一—三九 緑葉社

31 避暑地への賞書ノウチ 三田新聞 三田新聞学会

二 三田新聞学会

八月 1 最近の英吉利文芸(一)(二)〔最近に於ける欧州文壇の趨勢〕

ノウチ) 電気と文芸 一—一

五七一—六〇 電気文芸社

1 煙草を飲むこと 英語界 七一—八

二五—三 英語界社

1 無駄話の無駄話 三田文学 一一—八 三田文学会

一〇月15 獵人日記 (ツルゲーネフの原著の一節「Byezhin Prairie」の訳  
注) アルス

\*アルス英文叢書

20 お能拝観の記 喜多 一一—二

十四—十七 愚鈍坊述 秋生訳註

わんや出版部

\*昭和6年1月15日発行『能楽礼讃』に収録

十一月18 お能拝観の記 喜多 一一—三

一一—二〇 愚鈍坊述 秋生訳註

わんや出版部

大正一〇年 三田評論 二八—二

一月 1 人を喰つた夢想郷 三田評論 二八—二 三田評論発行所

二六—三五 喜多 二—一 三田評論発行所

8 お能拝観の記 喜多 二—一 愚鈍坊述 秋生訳註

九—一五 愚鈍坊述 秋生訳註

わんや出版部

三月 1 気分情調の芸術 喜多 二—三

一三一—一六 愚鈍坊述 秋生訳註

四月 15 怪談 (ラフカディオ・ハーン原著の訳注) わんや出版部  
\*アルス英文叢書 アルス  
七月 20 お能拝観の記 一二―一四  
秋生 わんや出版部

23 文豪夏目漱石ノウチ

夏目漱石氏と英文学 二六三―二七三

春陽堂

八月 1 私の学校で教へられた英文学 三五―三七

英語文学 五―八

わんや出版部

26 緘黙の音楽、静止の舞踊

喜多 二―四

わんや出版部

15 能とオペラとの字義 一〇―一四

喜多 二―八

緑葉社

26 お能拝観の記

二四―二六

喜多 二―四

わんや出版部

九月 1 お能拝観の記 二四―二七

喜多 二―九

わんや出版部

4 古い心新しい心 わたしの嫌いな武士道 (上)

東京日日新聞

わんや出版部

一〇月 1 お能拝観の記 九―一二

喜多 二―一〇

わんや出版部

5 古い心新しい心 わたしの嫌いな武士道 (中)

東京日日新聞

わんや出版部

1 ヘルン先生の講義 三二―七

英語界 八―一〇

英語界社

6 古い心新しい心 わたしの嫌いな武士道 (下)

東京日日新聞

わんや出版部

喜多 二―一一

愚鈍坊述 秋生訳注

わんや出版部

お能拝観の記

一一―一四

喜多 二―一五

愚鈍坊述 秋生訳注

喜多 二―一二

わんや出版部

お能拝観の記

一一―一四

喜多 二―一五

愚鈍坊述 秋生訳注

喜多 二―一二

わんや出版部

龍騎兵の芸術 (談)

三田新聞

三田新聞学会

大正一一年

一月 1 乞食詩人キリアム・デヴィス (翻訳を含む)

明星 (第二次) 一―三

お能拝観の記

一一―一四

喜多 二―一五

愚鈍坊述 秋生訳注

喜多 二―一二

わんや出版部

龍騎兵の芸術 (談)

三田新聞

三田新聞学会

大正一一年

一月 1 乞食詩人キリアム・デヴィス (翻訳を含む)

明星 (第二次) 一―三

六月 10 実君へ

喜多 二―一六

大正一一年

一月 1 乞食詩人キリアム・デヴィス (翻訳を含む)

明星 (第二次) 一―三

- 三七―四八 明星発行所
- 15 喜多流家元演じる「松風」のスケッチ 喜多 三一―  
戸川 生 わんや出版部  
(写真参照)
- 四月 1 再び乞食詩人を(翻訳を含む) 明星(第二次) 一―六  
明星発行所  
六九―九〇
- 1 イギリス思想影響の一端(英国文化の渡来とその回顧)ノウチ  
新小説 二七―四  
七〇―九四 春陽堂
- 五月 1 ミルの詩人論 三田評論 二九八  
三田評論発行所  
\* 一―九
- 1 狸々美 喜多 三一五  
三田評論発行所  
五―七 愚鈍坊 わんや雑誌部
- 六月 1 お能拝観の記 一六―二〇  
喜多 三一六  
わんや出版部  
愚鈍坊述
- 七月 1 私のお能を観る心 喜多 三一七  
わんや出版部  
二―四 秋生
- 5 鎌山奇談(エドガー・アラン・ポーの原著の訳注) アルス  
\*アルス英文叢書
- 八月 1 古い追想から(「人」及び「芸術家」としての鷗外博士)  
ノウチ) 新小説二七―九(臨時増刊・文豪鷗外森林太郎)  
二九―三一 春陽堂
- 1 鷗外先生の追憶 三田文学 一三一―八(鷗外先生追悼号)  
四五一―五〇 三田文学会

- 1 文学の宝庫 喜多 三十八 二四一三二 三田文学会
- 315 秋生 わんや出版部
- 4 英国に於ける自然派の文学 (二) やまと新聞 第一 人類の未来、第二 世界国家の計画、第三 愛国心の拡大、  
第四 文化の聖書(第一部)、第五 文化の聖書(第二部) アルス
- 5 英国に於ける自然派の文学 (二) やまと新聞 二月 1 死 三七一四六 三田文学 一四一二 三田文学会
- 9月 1 文鳥 三田文学 一三一九 平和な楽園を建設すべく攪乱されたる文明を救済せよ  
——ウエルズ著『文化の聖書』 アルス出版月報 一 三田文学 一四一三 三田文学会
- 18 英吉利の詩壇 三田新聞 三月 1 弱志 七三—八五 喜多 復刊一 三田文学会
- 4 三田新聞 三田新聞学会
- 10月 1 古今東西 三田評論 三〇三 四月 1 外国での能の研究 四一五 喜多 復刊一 三田文学会
- 35—三九 三田評論発行所
- 11月 1 ドン・ジュアン号の沈没の前後 (翻訳) 詩と音楽 一—四 五月 1 電車道に沿ふてへ虎の門から 四九—五九 三田文学 一四一五 喜多刊行会
- 58—六六 アルス
- 1 シエレエ雑談 明星(第二次)二—七 1 現実と迷想 一—六 三田評論 三〇一 三田評論発行所
- 17—二二 明星発行所
- 1 大藤村講演会的一幕 三田文学 一三一—二 1 徒歩 三五—四二 明星(第二次)三一—五 明星発行所
- 63—七二 三田文学会
- 1 文学者の国籍 心の花 二六—二二 (一葉女 史記念号) 竹柏会出版部 一六—二〇 喜多刊行会
- 7—一〇
- 大正一二年
- 1月 1 ガストロノミー 三田文学 一四—一 19 古典の外国語訳(二) 九 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

\*3 回連載

20 古典の外国語訳 (二)

東京日日新聞

1 知己先輩

三田文学 一四一八

21 古典の外国語訳 (三)

東京日日新聞

(戸山の原の立話、天金の二階、三越前の停車場、披露会の祝賀会)

三田文学会

九

東京日日新聞

1 品紫評紅録 (四) (清経 (上) (合評、談)

三田文学会

九

東京日日新聞発行所

1 品紫評紅録 (二) (通小町 (下) (合評、談)

喜多 復刊五

六月

1 品紫評紅録 (二) (通小町 (下) (合評、談)

喜多 復刊三

1 田舎の先生

喜多 復刊六

一九二二

喜多 復刊三

一〇月1

三〇一三一

喜多 復刊六

一九二二

喜多 復刊三

一月1

四一五

喜多 復刊九

11 幻の人 (R. L. B. Stevenson の原著 Will o' The Mill の訳注)

アルス

二月5

火にも焼けぬ芸術

喜多 復刊九

喜多 復刊九

\*アルス英文叢書

七月 1 明治時代生活と今昔の諸相 (三十余年前の学校生活)

新小説 二八一七

春陽堂

大正一三年

一月1

他界の大杉君に送る書

1 ケーベル先生

二六一三三

三田文学 一四一七

三田文学会

一月1

ミネルヴァへ

随筆 二一一

随筆発行所

1 謡本などは無いものにしたら

一五一一六

喜多 復刊四

喜多 復刊行会

七月1

自然に節約は無い (岡野知十さんに)

郊外 五

英語青年五〇一七

1 柏樹先生

二七一三〇

三田評論 三二三

三田評論発行所

1 男性美の芸術

一九九一〇一 (通卷)

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

1 読書

四一四七

明星 (第二次) 四一二

明星発行所

二月1

吾等は何処に何者を求むるか?

喜多

喜多 復刊行会

三月	1	舞台新築に就いての感想	一	喜多	喜多刊行会仮事務所	六月	1	別れ	三田文学 一五一六
									三田文学会
四月	1	君ちゃん	一一一三	喜多刊行会事務所	喜多	1	回顧	九六一〇四	
五月	1	至純狂熱の人	一一七―一二七	三田文学 一五一四	喜多	25	文鳥(随筆集)	二三―二四	
		北村透谷君	三一―三五	随筆 二一四	文鳥、ガストロノミイ、死、弱志、電車道に沿ふて、ケエベル生、知己先輩、ミネルヴァへ、君ちゃん、大藤村講演会の一幕、両隣、読書、徒歩、三十余年前の学校生活、古今東西、柏樹先生、岡野知十さんに、玄米飯を喰はされて、ヘルン先生の孟宗藪に仮				
	1	月の世界及び日の世界	三田評論 三二一	随筆社	窓にて、アナトオル・フランスと人權問題、ポンテオ・ピラト、並行線が会合する、至純狂熱の人北村透谷君、翻訳不可能論、漢字及び漢文				
	1	フィオナ・マクレオツドより〔翻訳〕	* 一一一〇	三田評論発行所	東京朝日新聞	七月	6	看板の英語と中学の英語	東京朝日新聞
	13	大英国民史上(泰西名書歴史叢書六)	七四―七六	日光 一一二	東京朝日新聞				
		[John Richard Greenの原著の翻訳]		日光社					
	23	バイロンの遺がいの前で(一)	七(夕刊)	報知新聞		11	東の端と西の端(一)	九	東京朝日新聞
		* 5回連載		報知新聞社					
	24	バイロンの遺がいの前で(二)	七(夕刊)	報知新聞		12	東の端と西の端(二)		東京朝日新聞
	25	バイロンの遺がいの前で(三)	一〇(夕刊)	報知新聞		13	東の端と西の端(三)		東京朝日新聞
	26	バイロンの遺がいの前で(四)	二	報知新聞		14	東の端と西の端(四)		東京朝日新聞
	27	バイロンの遺がいの前で(五)	七(夕刊)	報知新聞		15	東の端と西の端(五)		東京朝日新聞





四月

九一—四

1 品紫評紅録(十六)〔鞍馬天狗(下)〕〔合評、談〕

喜多刊行会事務所

喜多

一一—一六

9 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(二)

報知新聞

喜多刊行会事務所

(夕刊) 一〇

\*11回連載

10 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(二)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 一〇

11 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(三)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 一〇

12 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(四)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 七

13 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(五)

報知新聞

報知新聞社

二

14 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(六)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 一〇

15 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(七)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 一〇

16 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(八)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 一〇

17 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(九)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 一〇

18 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(二〇)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 一〇

19 齋藤緑雨君とチャアルズ・ラム(二一)

報知新聞

報知新聞社

(夕刊) 七

五月 1 強烈なる芸術

喜多

報知新聞社

二—三

1 品紫評紅録(十七)〔夜討曾我(上)〕〔合評、談〕

喜多

喜多刊行会事務所

一七—二一

六月 1 「ソクラテス」

文芸春秋

喜多刊行会事務所

五九—六一

1 品紫評紅録(十八)〔夜討曾我(下)〕〔合評、談〕

喜多

文芸春秋社

一一—一四

七月 1 品紫評紅録(十九)〔湯谷(上)〕〔合評、談〕

喜多

喜多刊行会事務所

七一一

22 山室大佐の追憶

東京朝日新聞

喜多刊行会事務所

時事新報

時事新報社

五

25 エイルキン物語 (世界名作大観第六卷) [Watts-Dunton の原著  
の翻訳]

九月 1 品紫評紅録 (二十) (湯谷 (下) (合評、談))

喜多

五

国民文庫刊行会

四

時事新報社

\*大正4年5月版の改版

31 翻訳者の愚痴 (一)

報知新聞

(夕刊) 七

報知新聞社

一〇月 1 「思ひ出す人々」を讀みて思ひ出した事

新小説 三〇一〇

春陽堂

\*5回連載

八月 1 翻訳者の愚痴 (二)

報知新聞

(夕刊) 七

報知新聞社

12 無敵艦隊 [J. R. Green の The Armada の訳注]

\*アルス英文叢書

アルス

19 精進行

三二〇

明星 (第二次) 七一四  
明星発行所

一二月 1 四疊半より

一三

英語青年 五四一三  
英語青年社

2 翻訳者の愚痴 (三)

報知新聞

(夕刊) 七

報知新聞社

1 品紫評紅録 (二十) (湯谷 (中) (合評、談))

喜多

3 (翻訳者の愚痴四)

\*3日の記事については原本確認出来ず

喜多刊行会事務所

10 古外套

二二二六

成人 一一三

4 翻訳者の愚痴 (五)

報知新聞

(夕刊) 七

報知新聞社

26 ヘルン先生

四

時事新報

20 平田禿木氏訳 カッパードールド (一)

時事新報

四

時事新報社

\*3回連載

27 ヘルン先生

四

時事新報

時事新報社

21 平田禿木氏訳 カッパードールド (二)

時事新報

28 ヘルン先生

時事新報

時事新報社

大正一五年

一月 1 再び喜多六平太氏の道成寺を観る 新小説 三二一

二月 1 品紫評紅録 (二十三) (調伏曾我 (下)) (合評、談)

喜多

七一

喜多刊行会事務所

1 品紫評紅録 (二十四) (融 (上)) (合評、談)

喜多

1 洋画と西洋劇

一

アルスグラフィ

アルス

1 喜多先生感服録

一八一

喜多

喜多刊行会事務所

1 勸進帳と雨

七七

文芸春秋

文芸春秋社

1 喜多先生感服録

一八一

喜多刊行会事務所

1 人の呼び名

一五一

三田評論

三田評論発行所

1 リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの速夜」

(一) (翻訳)

2 凡人崇拜 (一)

(夕刊) 一二

報知新聞

報知新聞社

9 英語青年 五四一七

英語青年社

\* 6 回連載

3 凡人崇拜 (二)

(夕刊) 一二

報知新聞

報知新聞社

15 リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの速夜」

(二) (翻訳)

4 凡人崇拜 (三)

(夕刊) 一二

報知新聞

報知新聞社

英語青年 五四一八

英語青年社

6 凡人崇拜 (四)

(夕刊) 一二

報知新聞

報知新聞社

二月 1 諸名士の雑誌新年号観ノウチ (アンケート回答)

不同調 二一二

7 凡人崇拜 (五)

一二

報知新聞

報知新聞社

5 品紫評紅録 (二十五) (融 (中)) (合評、談)

喜多

不同調社

8 凡人崇拜 (六)

(夕刊) 一六

報知新聞

報知新聞社

7 フランス革命とその先駆となつた詩人

七一〇

喜多刊行会事務所

三田評論 三四二

三田評論発行所

六

英語青年社

四月 1 リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの速夜」

(五)〔翻訳〕

7 笑

週刊朝日 九一七

朝日新聞社

英語青年 五五一

英語青年社

18 凡人崇拜〔隨筆集〕

アルス

1 フランス革命と其の先駆となった詩人

五一―五八

三田評論 三四四

三田評論発行所

凡人崇拜、定命、別れ、卑怯者、古外套、ソクラテス、山室大佐の追憶、波打ち際に立ちて、その頃の事、「思ひ出す人々」を読み

て思ひ出した事、翻訳者の愚痴、首括り綱渡り、小泉先生の旧居にて、石川さんの『煙草とパイプ』を読んで、自助論、人の呼び

名、六平太氏の能、国栖、勸進帳と雨、東の端と西の端、二二二

が四でない事、非武士道論の悲哀、斎藤緑雨君とチャアルズ・ラ

ム、発売禁止の文芸、他界の大杉君に送る書、精進行

(四)〔翻訳〕

三月 1 リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの速夜」

英語青年 五四―一二

六 英語青年社

1 フランス革命と其の先駆となった詩人

三田評論 三四三

三田評論発行所

27 能楽の趣味

四

三田新聞

三田新聞学会

五月 1 喜多先生感服録

四一六

喜多 喜多刊行会事務所

1 喜多先生感服録

二二―二七

喜多

喜多刊行会事務所

15 リイ・ハントの註釈したキイツの「セント・アグネスの速夜」

(四)〔翻訳〕

英語青年 五四―一二

六月 1 和洋両式の音楽

二五―二九

不同調 二一六

不同調社

1 銀座街頭に立ちて 女性 九一六

\* 五六一六三

プラトン社

1 品紫評紅録(二十八)〈望月(下)〉(合評、談)

喜多

喜多刊行会事務所

10 ユウトビヤの記事

一三一七  
三六一三九

成人 一一〇

開発社

\* 9月10日まで4回連載

七月 1 品紫評紅録(二十九)〈景清(上)〉(合評、談)

喜多

喜多刊行会事務所

1 長岡懐古

一六二一六四、一三四

伝説 一一二

日本伝説学会

1 音楽に聳なる私

一〇一一

交響楽 一一七

日本交響楽協会

10 ユウトビヤの記事(二)

三四一三七

成人 一一一

開発社

10 小泉八雲全集 第七卷ノウチ(大谷正信・田部隆次と共訳)

戸川明三

第一書房

耳無芳一の話(一七九―一九四)、貉(二二九―二三三)、葬ら

れたる秘密(二四七―二五二)

15 英文学覚帳

乞食詩人キリアム・デイヴィス、再び乞食詩人を、ドン・ジュア

ン号沈没の前後、シエレエ雑談、ミルの詩人論、人を喰つた夢想

郷、月の世界及び日の世界、トム・ジヨオンズ、リイ・ハントの

大岡山書店

註釈したキイツの「セント・アグネスの連夜」、フランス革命とそ

の先駆となつた詩人、英文学印象記を読んで、エイルキン物語序、

イギリス思想影響の一端、フィオナ・マクロオドより、ツレロオ

ニイのシエレエ追想記から、謡曲の英訳、ノオト・ブツクより、

サア・トマス・モアのこと

八月 1 猫

四三―四五

騷人 一一五

騷人社

1 五月一日の事

七三―七五

文芸春秋 四一八

文芸春秋社

1 野口米二郎著 松の木の木(良書推薦)ノウチ

文芸春秋 四一八

文芸春秋社

10 ユートピアの記事

三三―三九

成人 一一二

文芸春秋社

九月 1 鉢木

二一―三

喜多

開発社

1 品紫評紅録(三十二)〈藤戸(上)〉(合評、談)

喜多

喜多刊行会事務所

10 ユートピアの記事

三九―四五

成人 二一一

喜多刊行会事務所

一〇月 1 新居の記

七八―八〇

随筆 一一五

大岡山書店

十一月 1 不安

一〇〇―一〇二

文芸時代 三一―一

人文会出版部

一〇月 1 不安

一〇〇―一〇二

金星堂

	5	統一日一文ノウチ						朝日新聞社
		魚の真似をする人達	二六七—二七〇					
昭和元年								
	二二月28	大英国民史 下 (泰西名書歴史叢書八)						国民図書株式会社
昭和二年								
	二月 1	北村透谷君と私					改造 九一二	
			*五—七					改造社
	1	品紫評紅録 (三十五) 〈紅葉狩 (上)〉 (合評、談)				喜多		
					一一—一四		喜多刊行会事務所	
	15	某生へ					英語青年 五六—一〇	英語青年社
					二四			
	三月 1	品紫評紅録 (三十六) 〈紅葉狩 (中)〉 (合評、談)				喜多		
							喜多刊行会事務所	
	4	啓蒙能楽談 (1)	九—一					報知新聞社
		*6回連載						
	6	啓蒙能楽談 (2)						報知新聞社
		*4回連載						
	7	啓蒙能楽談 (3)						報知新聞社
	8	啓蒙能楽談 (4)						報知新聞社
	9	啓蒙能楽談 (5)						報知新聞社
	10	啓蒙能楽談 (6)						報知新聞社
	28	現代隨筆大觀 (評論・隨筆家協会編) ノウチ						報知新聞社
		人の呼び名	三六七—三七三					新潮社
	30	断じて府立へは入れない (上)			五			東京朝日新聞
		断じて府立へは入れない (下)						東京朝日新聞
	31	断じて府立へは入れない (下)						東京朝日新聞
					五			東京朝日新聞社
	四月 1	品紫評紅録 (三十七) 〈紅葉狩 (下)〉 (合評、談)				喜多		
							喜多刊行会事務所	
	五月 10	快感のいろく						成人 二一九
					四四—四六			大岡山書店
	20	小泉八雲全集 第八卷 (翻訳)						戸川明三 第一書房
		神国日本、追録、あとがき						三田文学 二一六
	六月 1	町の音楽						三田文学会
	26	「神国日本」を訳して (1)	一一六—一一九					報知新聞社
	27	「神国日本」を訳して (2)						報知新聞社
		*4回連載						

- 28 「神国日本」を訳して(3) 報知新聞  
四 報知新聞社
- 29 「神国日本」を訳して(4) 報知新聞  
四 報知新聞社
- 七月 1 翻訳製造株式会社 改造 九一七  
\* 一四一八  
1 大英国民史を訳して 三田評論 三五九  
六七一〇 三田評論発行所
- 八月 1 品紫評紅録(四十)〈蟬丸(上)〉(合評、談) 喜多 喜多刊行会事務所  
一四 喜多刊行会事務所  
1 再びガストロノミー 三田文学 二一八  
一一二一一五 三田文学会
- 10 十日物語(世界名作大観46)〔ボッカチオ「デカメロン」の翻訳〕 国民文庫刊行会  
\* 大正5年の泰西名著文庫版の改版
- 10 謡曲の幽霊 成人 二一一二 日本成人教育協会  
四三—四六
- 19 新宮に客となつて(1) 報知新聞  
三 報知新聞社
- \* 4回連載  
21 新宮に客となつて(2) 報知新聞  
三 報知新聞社
- 22 新宮に客となつて(3) 報知新聞  
四 報知新聞社
- 23 新宮に客となつて(4) 報知新聞  
四 報知新聞社
- 九月 1 品紫評紅録(四十二)〈蟬丸(下)〉(合評、談) 喜多 喜多刊行会事務所  
一一一四 喜多刊行会事務所
- 10 道学先生の旅 成人 三一—  
四三—四七 日本成人教育協会
- 一〇月 1 新築舞台雑感 喜多 喜多刊行会事務所  
六一八 喜多刊行会事務所
- 1 品紫評紅録(四十二)〈葵上(上)〉(合評、談) 喜多 喜多刊行会事務所  
九一二 喜多刊行会事務所
- 一一月 1 杓子定木 三田評論 三六三  
四五一四九 三田評論発行所  
1 未覚池塘春草夢 三田文学 二一一—  
一〇〇—一〇三 三田文学会
- 1 品紫評紅録(四十三)〈葵上(下)〉(合評、談) 喜多 喜多刊行会事務所  
一三一—一六 喜多刊行会事務所
- 一二月 1 加藤朝鳥君の「英文学夜話」を読む 大調和 一一九  
六〇—六三 春秋社
- 昭和三年  
一月 1 品紫評紅録(四十四)〈野守〉(合評、談)

- 喜多  
四一九  
喜多刊行会事務所
- 1 教壇から  
四一九  
三田評論 三六五  
三田評論発行所
- 二月 1 品紫評紅録(四十五)〈松風(上)〉(合評、談)  
喜多  
喜多刊行会事務所
- 六月 5 エッセイに就いて 竹友藻風君の所論から(上)  
国民新聞
- 三月 1 田園小説  
五―七  
喜多刊行会事務所
- 六月 6 エッセイに就いて 竹友藻風君の所論から(下)  
国民新聞
- 1 品紫評紅録(四十六)〈松風(下)〉(合評、談)  
喜多  
喜多刊行会事務所
- 七月 1 品紫評紅録(四十九)〈道成寺(下)〉(合評、談)  
喜多  
国民新聞社
- 10 田園日記  
一五一―一八  
成人 三―七  
喜多刊行会事務所
- 八月 1 軽井沢にて  
一五一―一九  
喜多  
喜多刊行会事務所
- 30 新刊良書推奨ノウチ  
七  
東京朝日新聞  
東京朝日新聞社
- 10 喧嘩  
四四―四五  
成人 三―一二  
三田文学会
- 四月 29 十国峠絶頂のシエクスピヤ(上)  
四  
読売新聞  
読売新聞社
- 12 イギリスのアルプス文学(二)  
八  
報知新聞  
報知新聞社
- 五月 1 十国峠絶頂のシエクスピヤ(二)  
四  
読売新聞  
読売新聞社
- \* 4 回連載  
三田文学 三一五  
報知新聞  
報知新聞社
- 1 日記から  
一一八―一二二  
三田文学会  
報知新聞社
- 3 十国峠絶頂のシエクスピヤ(三)  
四  
読売新聞  
読売新聞社
- 15 イギリスのアルプス文学(四)  
八  
報知新聞  
報知新聞社
- 4 十国峠絶頂のシエクスピヤ(完)  
四  
読売新聞  
読売新聞社
- 10 石田さんの顔  
四六一―四八  
成人 三―一九  
日本成人教育協会



八 報知新聞社

16 イギリスのアルプス文学(五) 報知新聞

八 報知新聞社

17 イギリスのアルプス文学(六) 報知新聞

八 報知新聞社

19 イギリスのアルプス文学(七) 報知新聞

八 報知新聞社

20 イギリスのアルプス文学(八) 報知新聞

八 報知新聞社

21 イギリスのアルプス文学(九) 報知新聞

八 報知新聞社

九月 1 品紫評紅録(五十一)〈鬼界島(下)〉(合評、談) 喜多

七二〇 喜多刊行会事務所

1 ハアデイの事から推して 不同調 七二三

三二一三三四 不同調社

一〇月 1 英語科問題私見 英語青年 六〇一一

六 戸川明三 英語青年社

1 日記から 喜多 喜多刊行会事務所

八一〇 喜多刊行会事務所

一一月 29 花と別れる(上) 読売新聞

四 読売新聞社

\* 4 回連載

30 花と別れる(中) 読売新聞

四 読売新聞社

一二月 1 花と別れる(下ノ一) 読売新聞

四 読売新聞社

4 花と別れる(完) 読売新聞

四 読売新聞社

10 可笑しな話 成人 三一六

四三―四六 日本成人教育協会

26 異国叢書第六卷 吳博士訳註 ケンパエル江戸参府紀行

時事新報 時事新報社

\* 節子姫とアヤちゃん をだまき艸(創刊号)

\* 『愛と叛逆：文化学院の五十年(文化学院出版部)』による。

正確な発行者、発行日、ページ数は不明。昭和8年発行の随筆集『都会情景』に収録

昭和四年

一月 1 短篇小説の研究(第七回)ヘロバアト・ルウィ・ステイヴンス

英語青年 六〇―七

英語青年社

1 文芸の王国 三田文学 四―一

一〇〇―一〇二 三田文学会

21 伊豆半島を想ふ(1) 報知新聞

六 報知新聞社

\* 4 回連載

22 伊豆半島を想ふ(2) 報知新聞

報知新聞

六 報知新聞社

23 伊豆半島を想ふ(3) 報知新聞

六 報知新聞社

24 伊豆半島を想ふ(4) 報知新聞

六 報知新聞社

二月 1 得三氏の『あしかり』―合評五十四回―(合評)

喜多

一 二一―一九

喜多刊行会事務所

三月 1 ジョンソン先生の警句

雄弁 二〇―三

一 二二―二四 大日本雄弁会講談社

14 築地、歌舞伎、および能

東京朝日新聞

五

東京朝日新聞社

四月 10 ジョンソン先生言行録の一端

成人 四―四

四 六―四八

日本成人教育協会

15 楽天地獄(「ユウモア全集第三巻、戸川秋骨集」)

現代ユウモア全集刊行会

スケッチ

凡人生活、霜の朝の戸山の原、定命、別れ、卑怯者、古外套、文

鳥、ガストロノミイ、ミネルヴァへ、両隣、ポンテオ・ピラト、

小泉先生の旧居にて、郊外日記

追想

電車道に沿ふて、ケエベル先生、先輩、ヘルン先生の孟宗藪に仮

睡して、ソクラテス、山室大佐の追憶、波打ち際に立ちて、翻訳

者の愚痴、銀座街頭に立ちて、冷熱の喫茶店

紀行

徒歩、精進行、長岡懐古、道学先生の旅、未竟池塘春草夢、新宮

に客となつて、十国峠絶頂のシエクスピヤ、大藤村講演会の一幕

パレードクス

読書、米の飯と国体、雪の窓にて、アナトオル・フランスと人権

問題、翻訳不可能論、凡人崇拜、首括り綱渡り、勸進帳と雨、劇

薬宗教、笑、哲学とは何ぞや、杓子定木、翻訳製造株式会社、電

車哲学、人の呼び名、ぐうたら先生、弱志、二二ンが四でない事、

非武士道論の悲哀、花と別れる、頑冥不靈か猫ツ冠りか

21 泥坊文学(1)

報知新聞

六

報知新聞社

\* 4 回連載

22 泥坊文学(2)

報知新聞

六

報知新聞社

23 泥坊文学(3)

報知新聞

六

報知新聞社

24 泥坊文学(4)

報知新聞

六

報知新聞社

五月 1 スティヴンソンのオットウ太公(上)

英語青年 六一―三

二五―二六

15 スティヴンソンのオットウ太公(下)

英語青年 六一―四

二五―二六

六月 1 日記から

三田評論 三八二

四八―五一

三田評論発行所

七月 1 英太子御来朝の時から 文芸春秋 七―七

二〇―二三

文芸春秋社

\* 3回連載

四 読売新聞社

八月 12 紀行隨筆集(附)「春」「嵐」(現代日本文学全集36、戸川秋骨

篇)ノウチ

改造社

25 満州小便の記(二)

読売新聞社

精進行、別れ、文鳥、ミネルヴァへ

一四六一―一七〇

27 満州小便の記(完)

読売新聞

15 提灯をつけてシエイクスピアの光を

英語青年 六一―一〇

一二月10 その頃の人達

成人 四―一一

一三一―一六

英語青年社

20 洮南の災(1)

日本成人教育協会

17 書画帳(1)

報知新聞

報知新聞社

三 洮南の災(2)

報知新聞

報知新聞社

\* 5回連載

報知新聞

報知新聞社

\* 8回連載

三

報知新聞

報知新聞社

18 書画帳(2)

報知新聞

報知新聞社

21 洮南の災(3)

報知新聞

報知新聞社

19 書画帳(3)

報知新聞

報知新聞社

22 洮南の災(4)

報知新聞

報知新聞社

21 書画帳(4)

報知新聞

報知新聞社

23 洮南の災(5)

報知新聞

報知新聞社

21 諸相の礼讃(現代世相展望―三―)

東京朝日新聞

東京朝日新聞社

24 洮南の災(6)

報知新聞

報知新聞社

22 書画帳(5)

報知新聞

報知新聞社

25 洮南の災(7)

報知新聞

報知新聞社

九月 1 満州夢幻の世界(本社満蒙視察団第一信)

読売新聞

読売新聞社

26 洮南の災(8)

報知新聞

報知新聞社

21 満州小便の記(一)

読売新聞

読売新聞社

27 洮南の災(9)

報知新聞

報知新聞社

四

三

三

三

三

三

三

三

三

三

二月 1	古い酒、古い袋	二一三	郊外一〇一二	一〇九一二一〇	大日本雄弁会講談社
10	可笑味の道成寺詣	三八一四〇	成人 四一二二	1 啓蒙見学旅行	東亜 三一三
			日本成人教育協会	10 生きた学問 死んだ学問(二)	東亜経済調査局
昭和五年			東亜 三一三	* 3 回連載	東京朝日新聞
一月 1	啓蒙見学旅行	八七一九九	東亜経済調査局	11 生きた学問 死んだ学問(一)	東京朝日新聞社
				五	東京朝日新聞社
	* 4月まで4回連載			12 生きた学問 死んだ学問(三)	東京朝日新聞
1	種子の蒔かれた頃(一)	六	時事新報	五	東京朝日新聞社
	* 5回連載		時事新報社	1 極度まで生かされた型	喜多
3	種子の蒔かれた頃(二)	四	時事新報	一〇一二二	喜多流謡本刊行会
			時事新報社	九四一〇二	東亜 三一三
4	種子の蒔かれた頃(三)	四	時事新報	1 啓蒙見学旅行	東亜経済調査局
			時事新報社	四月 1	東亜 三一四
5	種子の蒔かれた頃(四)	四	時事新報	1 或る日のピイプス(上)	英語青年 六三一
			時事新報社	六一七	英語青年社
6	種子の蒔かれた頃(五)	四	時事新報	15 或る日のピイプス(下)	英語青年 六三一二
			時事新報社	六一七	英語青年社
10	景清	四三一四六	成人 五一一	25 Samuel Pepysの事	
			日本成人教育協会	English literature and Philology 卷1	
二月 1	秋刀魚は目黒に限る	二一二三	文芸春秋 八一二	五月 1 一月六日の事	五三一六八
			文芸春秋社	八一〇	慶應義塾大学英吉利文学会
1	少し膨張しようと思つて	二一二三	現代 一一一二		三田文学 五一五
					三田文学会

- 1 一月六日の事      ゆうもあ      三一三      報知新聞社
- 30 還暦祝ひを迎へて 戸川君の思出話〔談〕      六一八      ゆもりすと社
- 24 随想二つ三つ      五      三田新聞      三田新聞学会
- 六月      六      三田新聞      三田新聞学会
- 七月 15 安本と植木      二      英語青年      英語青年社
- 20 永遠の都 (世界大衆文学全集第三九卷) (Hall Caineの原著の翻訳)      改造社
- 八月 1 為になつたこと      現代      一一一八      大日本雄弁会講談社
- 1 現代英国作家 (九) Aldous Huxley      七七      英語青年      英語青年社
- 15 Aldous Huxley の Point Counter Point      三、五      英語青年      英語青年社
- 19 私の一九三〇年 (1)      七一八      報知新聞      報知新聞社
- 20 私の一九三〇年 (2)      三      報知新聞      報知新聞社
- 21 私の一九三〇年 (3)      三      報知新聞      報知新聞社
- 22 私の一九三〇年 (4)      三      報知新聞      報知新聞社
- 九月 1 竹友藻風氏の英文学論攷      五      時事新報      時事新報社
- 10 清経      四三―四五      成人      五―九      日本成人教育協会
- 1 身辺の近事      九六―九七      喜多      文芸意匠      一一三      文芸意匠社
- 1 ハルビンの三日      一一―一三      三田評論      四〇〇      喜多流謡本刊行会
- 1 能楽談      一七―二〇      三田新聞      三田評論発行所
- 昭和六年 一月 1 不良老年気質      四      現代      一一一      大日本雄弁会講談社
- 1 叔父に関する追想      一三―二      喜多      喜多流謡本刊行会
- 1 弱法師の合評〔合評〕      二七―二      喜多      喜多流謡本刊行会
- 10 その頃の人達 (再び)      二一―一      成人      六一―一      喜多流謡本刊行会

15 能楽礼讃

大岡山書店

啓蒙能楽談、再び道成寺を観る、六平太氏の能、緘黙の音楽、静止の舞踊、男性美の芸術、文学の宝庫、お能拝観、火にも焼けぬ芸術、能とオペラとの字義、外国での能の研究、謡曲の幽霊、清経、景清、鉢木、国栖、実君へ、お能拝観記（気分情調の芸術、項羽 連歌盗人、巴 求塚 景清、小督 蟬丸、海人 安宅 狐釣、藤戸、黒塚、安宅 石橋、実盛 松風 望月、狸々、清経 隅田川、田村、小袖曾我、井筒 国栖）

寺)

\*国会図書館に、昭和五年十一月十五日発行の奥付の附された

『能楽礼讃』が所蔵されているが、その記載が上書きされているように見えることと、十一月十五日の日付の跋文は、内容もこの昭和六年版と全く同じことから、発行日は昭和六年一月十五日の方を採用した。

16 反ソヴェト戦争起ころばノウチ

ナツブ 二一―

一七

戦旗社

五月 1 安部能成君の私信

二一―二二

喜多

喜多流謡本刊行会

15 自然・氣まぐれ・紀行(随筆集)

饒舌

第一書房

書画帖、泥坊の住所姓名、私の一九三〇年、人の呼び名、古い酒古い袋、泥坊文学、五月一日の事、可笑味の道成寺詣、石田さん

の顔、喧嘩、冷熱の喫茶店、町の音楽、可笑しな話、快感のいろ、自分の郊外生活、松茸の山、一月六日の事、花と別れる、春かへる、不安

日記

日記から

餓鬼

秋刀魚は目黒に限る、再びガストロノミー、悪もの喰ひ、魚

懐疑

劇薬宗教、頑冥不靈か、猫ツ冠りか、築地、歌舞伎、および能、

魚の真似をする人達、和洋両式の音楽、文芸の王国、モダン・ガ

アルと新しき女、講壇から、大英国民史を訳了して、生きた学問

死んだ学問

回顧

その頃の人達、憶ひ出の大阪、種子の時かられた頃、グロスタア公

をお迎へして

紀行

イギリスのアルプス文学、山岳征服、新年に伊豆半島を想ふ、長

岡懐古、道学先生の旅、未算池塘春草夢、新宮に客となつて、十

国峠絶頂のシエイクスピア、軽井沢にて、豆相一日の快走、啓蒙

見学旅行、洮南の災、旅順口、満洲意外の記、満洲夢幻の世界、

満洲小便の記、墳墓の地、大連から帰つて、旅のをはり

1 現英文壇のエッセイ

セルパン 二

六月

三六―三九

第一書房

15 憶測から憶測へ

二一―三

英語青年 六五―六六

英語青年社

15 英文学覚帳 第一書房

\*大正15年7月15日発行大岡山書店版の普及版、版型同一

七月 1 「船橋」の合評〔合評〕 喜多

二一八 喜多流謡本刊行会

1 薄赤い開き封の親展 現代 二二一七

八六一八七 大日本雄弁会講談社

22 漫談 カアライルとミル

English literature and philology 卷2

七五―八五 慶應義塾英吉利文学会

八月 1 実さんの弁慶に就いて 喜多

一九 喜多流謡本刊行会

九月 10 書画屋 成人 六一九

三八―四一 日本成人教育協会

20 小泉一雁氏の父「八雲」を憶ふ

社会教育 一三

\*一 財団法人社会教育会

一二月 5 \*表題の表記は原文のまま。タブロイド版新聞紙の形式

古東多万 一―三

二四―三〇 相互出版協社やぼんな書房

25 小さな庭の椿 冬柏 三一―

六一八 冬柏発行所

昭和七年

一月 1 深味の芸術 観世 三一―

二二―二四 観世発行所

1 国産芸術 喜多

一五一―一七

1 天鼓の合評〔合評〕 喜多

二二―二四

1 素顔の小泉八雲へ「雄さんの『父「八雲」を憶ふ』を讀みて」

セルパン 一一 第一書房

三月 14 土臭・亀の子・国事 七〇―七三 帝国大学新聞

四月 1 Obiter Dicta (1) 英語青年 六七―一 帝国大学新聞社

五月 1 Obiter Dicta (2) 英語青年 六七―二 英語青年社

\*5月1日まで3回連載 一〇―一四 英語青年社

15 Obiter Dicta (3) 英語青年 六七―三 冬柏発行所

25 銀座の柳・椿 三四六―三四七(通巻) 冬柏 三一―四 冬柏発行所

五月 1 Obiter Dicta (3) 英語青年 六七―三 英語青年社

六月 1 父「八雲」を憶ふ 良書百選 第一輯 日本図書館協会調査部

一六一―一八 喜多 一〇―一九 喜多流謡本刊行会

九月 1 邯鄲の合評〔合評〕 二五―二九 大阪朝日新聞

18 鈍物の読書 五 大阪朝日新聞発行所

- 一〇月 1 故人の原稿その他  
書物展望 二一一〇  
書物展望社
- 1 謡曲の写実  
一一一五  
一八 団十郎の裸体姿 (三)  
五  
東京朝日新聞
- 1 謡曲中の老勇士  
二八―三〇  
親世 三一―一〇  
觀世 發行所
- 1 謡曲中の一頁  
二一四  
喜多 一〇―一〇  
喜多流謡本行會
- 15 ホワイトのセルボオンの博物志 (二)  
英語青年 六八―二  
英語青年社
- 5―七  
喜多 一〇―一〇  
喜多流謡本行會
- 一月 1 能案に関する最近の感想  
謡曲界 三八―更新三  
謡曲界發行所
- 1 ホワイトのセルボオンの博物志 (二)  
八―九  
英語青年 六八―三  
英語青年社
- 1 伝記文学の双壁  
一〇―一  
新英米文学 一一―〇  
新英米文学社
- 10 神国日本 (小泉八雲の翻訳)  
三一―三三  
第一書房
- 15 セルボオンの博物志 (3)  
三一―四  
英語青年 六八―四  
英語青年社
- 16 団十郎の裸体姿 (二)  
五  
東京朝日新聞
- 17 団十郎の裸体姿 (二)  
\* 4 回連載  
九  
東京朝日新聞
- 昭和八年  
一月 1 百万の合評 (合評)  
二九―三五  
喜多 一―一  
喜多流謡本行會
- 1 セルボオンの博物志 (6)  
一一  
英語青年 六八―七  
英語青年社
- 1 謡曲のエロ  
一三五―一三七  
謡曲界 三七―一  
謡曲界發行所
- 15 セルボオンの博物誌 (7)  
一一  
英語青年 六八―八  
英語青年社
- 二月 1 時計をとられる  
三二―三六  
新潮 三〇―二  
新潮社
- 1 セルボオンの博物志 (8)  
英語青年 六八―九  
新潮社



- 七十八
- 15 セルポオンの博物志(9) 英語青年 六八一〇 英語青年社  
一四一五 英語青年社
- 20 マコーレー論文集(世界大思想全集72)(翻訳) 春秋社  
ウラーレン・ヘイスチングス、クライヴ、フレデリック大王、ピット、歴史論
- 三月
- 1 セルポオンの博物志(10) 英語青年 六八一〇 英語青年社  
一一二二 英語青年社
- 5 政治を取扱った文学(一) 国民新聞 国民新聞社
- 五
- \*3回連載
- 6 政治を取扱った文学(二) 国民新聞 国民新聞社
- 五
- 7 政治を取扱った文学(三) 国民新聞 国民新聞社
- 五
- 15 セルポオンの博物志(11) 英語青年 六八一二 英語青年社  
一四一五 国民新聞社
- 四月
- 1 古い写真を見て 現代仏教 一〇一〇三 現代仏教社  
一〇四一〇七
- 15 セルポオンの博物志(12) 英語青年 六九一二 英語青年社  
一四
- 五月
- 1 セルポオンの博物誌(13) 英語青年 六九一三 英語青年社  
一一一三
- 1 岡野さんの想ひ出 半面 復刊五号 英語青年社  
一八一二 郊外社
- 15 セルポオンの博物誌(14) 英語青年 六九一四 英語青年社  
一三 東京朝日新聞
- 19 「英米文学の背景」 六 東京朝日新聞
- 六月
- 1 セルポオンの博物誌(15) 英語青年 六九一五 英語青年社  
一一二二 新潮 三〇一六 英語青年社
- 1 苦笑 新潮 三〇一六 新潮社
- 四二四三
- 1 銀座裏での一小話 作品 四一六 作品社  
五七五八
- 5 伝記文学(岩波講座 世界文学) 岩波書店  
起源、支那の伝記、肖像画、興味の伝記、伝記文学の発生、イギリスの伝記文学、ボスエルのジョンソン伝、十九世紀の伝記文学、現代の伝記文学
- 15 ロンドン・ブックマン 東京堂月報 二〇一六 東京堂
- 七月
- 1 セルポオンの博物誌(16) 英語青年 六九一七 英語青年社  
九 英語青年社
- 15 本場もの 文体 一一一 文体社  
五一九
- 八月
- 4 宮中へはいりこんだ少年の話 三田新聞 三田新聞学会  
二 週刊朝日 二四一〇 朝日新聞社
- 27 静かな湖水 二 朝日新聞社
- 一〇月
- 1 憶ひ出の銀座 銀座 一一二 銀座

20 口上 二 銀座社

20 エレホン晩餐会 一―二 文鳥 一 文鳥社

20 風車小屋から 二〇―二三 文鳥 一 文鳥社

20 風車小屋から 六二―六五 文鳥 一 文鳥社

20 亡友帖(一) 六六―六七 文鳥 一 文鳥社

\*11年2月20日まで6回連載 署名なし 文鳥社

一月1 四十年前の「文学界」 文学界 一―二 文化公論社

10 ライオンの笑顔 四―五 自由を我等に 第三号 文化公論社

二月1 老人の喜劇 一九六―二〇一 新青年 一四―一四 博文館

1 フランク・ハリス 八四―八五 作品 四―一二 作品社

1 新文芸思想講座 第三卷ノウチ 三二五―三三二 文芸春秋社

10 都会情景(随筆集) 三一五―三二四 第一書房

舞台顔と素顔、団十郎の裸体姿、書画屋、薄赤い開き封の親展、苦笑、時計をとられる、交友会の崩れ、結婚披露の会、節子姫と

アヤちゃん、少し膨張しようと思つて、映画を見ざるの記、不良老年気質、長閑けからぬ心、銀座の柳・椿、嗜好の移動、銀座裏での一小話、弘徽殿の細殿と公園の木かげ、自然居士、謡曲の写実、深味の芸術、謡曲のエロ、能楽に関する最近の感想、国産芸術、能楽雑談、政治を取り扱つた文学、満蒙回顧、葦の髓から、時事、陸軍と警察、土臭・亀の子・国事、小さな庭の椿、和田美術学校長を中心に、中島商工大臣を中心に、その頃の人達、古い写真を見て、岡野さんの憶ひ出、北村透谷君と私、故人の原稿その他、鈍物の読書、翻訳記念の会、竹友藻風氏の英文学論攷、日高氏の英米文学の背景、平田禿木君の『英文学散策』、ロンドン・ブックマン、現英文壇のエッセイ、伝記文学の双璧、ユウトピヤの記事、素顔の小泉八雲、或る日のピイアス、安本と植木、臆測から臆測へ、提灯をつけてシエイクスピアの光を、Samuel Pepysの事、漫談カアライルとミル、若からんと欲する心、中綱湖畔の

数日、本場もの

17 バトラアの不思議な逸話 一六―一七 新英米文学 二―一八 新英米文学社

24 英語英文学講座ノウチ 英語英文学講座刊行会

1 英語英文学講座ノウチ 英語英文学講座刊行会

1 ヴィクトリア女王、寸評、ストレイチ氏の事 一七―三六

昭和九年

1 光明照四海(謡曲作詞) 謡曲界 三八―一

1 お正月と能 巻頭写真版 謡曲界発行所

三田新聞



五月 1 談漫調子外れ

喜多 二二一五

三二一三六

梓書房

八一〇

喜多流謡本刊行会

野鳥 一一二

梓書房

1 南部地方の禽鳥(リチャード・ジェフリーズ「Wild Life in a Southern Country」の翻訳)

野鳥 一一一

梓書房

1 推薦(「なかじま屋の酒」ノウチ)(広告)  
心境 一一三

郷土研究社

四一四三

梓書房

20 笑・赤・剣難 五一

文鳥 三

郷土研究社

\*7月1日まで3回連載

野鳥 一一一

梓書房

20 後藤得三さんを語る(「後藤得三を斯う観る!」ノウチ)

署名なし

文鳥社

1 「野鳥之会」座談会(座談会)  
四四一五八

梓書房

20 謡曲界 三八一六

謡曲界発行所

\*7月1日まで3回連載

作品 五十五

作品社

20 英文壇小話 七八一七九

文鳥 三

文鳥社

1 エドモンド・ゴス氏の「父と子」  
一〇三一〇四

東京朝日新聞

東京朝日新聞社

20 風車小屋から(三) 六七一七四

文鳥 三

文鳥社

4 拙文弁疏 九  
東京朝日新聞

東京朝日新聞

東京朝日新聞社

20 亡友帖(三) 七五一七七

署名なし

文鳥社

14 築地の憶出(少年梅吉君のこと)  
一(夕刊)  
中外商業新報

時事新報

時事新報社

\*編集後記にも短文あり

野鳥 一一三

梓書房

20 米の飯 五  
帝国大学新聞

帝国大学新聞

帝国大学新聞社

1 「野鳥之会」座談会 六一一七六

野鳥 一一三

梓書房

21 わが愛読書ノウチ 七  
帝国大学新聞

帝国大学新聞

帝国大学新聞社

1 南部地方の禽鳥(リチャード・ジェフリーズ「Wild Life in a Southern Country」の翻訳)

野鳥 一一三

梓書房

6月 1 軽い葛籠 一五八一六〇  
行動 二一六

紀伊国屋出版部

紀伊国屋出版部

1 大本山モンテエニユ 五三一五七

文体 二一七

梓書房

1 南部地方の禽鳥(リチャード・ジェフリーズ「Wild Life in a Southern Country」の翻訳)

野鳥 一一二

野鳥 一一二

1 野鳥 一一二

梓書房

梓書房



\*原本未確認。記述は昭和9年10月12日発行の「三田新聞」誌  
上掲載の予告記事による。随筆集『自画像』に一部収録

5 リヤ王の鑑賞点 沙翁復興 一四号

八―一六 中央公論社

15 バトラ―(研究社英米文学評伝叢書―59) 研究社

20 どころ坊 読売新聞

四 読売新聞社

一二月1 別会を觀て 喜多 一―二―二

一八―一九 喜多流謡本刊行会

23 佐藤氏訳す小泉先生の「尖塔登攀記」

読売新聞

四 読売新聞社

28 明治学院時代の憶出

冬柏 六一―

六六―六九 冬柏発行所

一月1 野宮の合評 喜多 一三―一

五一―九 喜多流謡本刊行会

1 助さん格さんとメイリ・マクラレン

三田文学 一〇―一

1 木菟の一日

二一〇―二二三 三田文学会

1 約六十年前に見た能 謡曲界 四〇―一

七四―七六 梓書房

七七一―七九 謡曲界発行所

1 観世流改訂本を見て 謡曲界 四〇―一

九八 謡曲界発行所

二月1 門外漢の映画論 セルパン 四八

七〇―七四 第一書房

1 「日本野鳥の会」主催 鳥に就て物を聴く会(談)

一三五―一四一 野鳥 二―二

1 日本精神と謡曲及び能楽(特輯日本精神の復興と能楽)ノウチ 梓書房

一三八―一四〇 謡曲界 四〇―二

1 「日本野鳥の会」主催 鳥に就て物を聴く会(談) 謡曲界発行所

五一―五六 野鳥 二―三

三月1 現代隨筆全集 第一巻ノウチ 梓書房

精進行、勸進帳と雨、秋刀魚は日黒に限る、本場もの 金星堂

20 一葉劇上演の際の事 隨筆趣味 三

二五六―二九九 一三八―一四二 双雅房

30 見本五葉 セルパン 五〇

七〇―七一 真理 一―四 第一書房

四月1 文人ざらひ 四二―四六 全日本真理運動本部

1 装釘各説 七 書物展望 五―四 書物展望社

1 約六十年前に見た能 七 書物展望社

1 装釘各説 七 書物展望社

1 装釘各説 七 書物展望社

1 装釘各説 七 書物展望社

1 装釘各説 七 書物展望社

7 安宅の合評会 千鳳会所演〔合評〕

喜多 一三―四

―ト回答〕

書窓 一―二

二八―三五

喜多流謡本刊行会

一五一

アオイ書房

20 憶ひ出される先生方

文鳥 五

関書店

六月 1 坪内先生に関する憶出

英語青年 七三―七五

20 オオバアマンから

文鳥 五

関書店

3 講壇生活二十余年

三田文学 一〇―一六

20 風車小屋から〔五〕

文鳥 五

関書店

1 樋口一葉研究〔作家研究座談会 十〕〔座談会〕

三田文学会

20 亡友帖〔五〕

文鳥 五

関書店

1 外国語・翻訳思想〔二〕万葉集翻訳を耳にして

新潮 三二―一六

20 食を中心として

時世粧 二

関書店

\* 4 回連載

東京朝日新聞

25 悼文

冬柏 六一―四

冬柏発行所

21 外国語・翻訳思想〔二〕外語軽視の理由と矛盾

東京朝日新聞

28 与謝野寛氏の追憶

一八六―一八九

紀伊国屋出版部

22 外国語・翻訳思想〔三〕外語侵入と日本語

東京朝日新聞

1 喜多六平太論

三八一―四七

真理 一―五

9 外国語・翻訳思想〔四〕万葉にも翻訳の香

東京朝日新聞

1 翻訳難

一〇―一二

文芸春秋社

23 外国語・翻訳思想〔四〕万葉にも翻訳の香

東京朝日新聞

10 吉村冬彦氏著

三田新聞

三田新聞学会

七月 1 印象に残った能ノウチ

謡曲界 四一―一

謡曲界発行所

10 気に入った自著・愛蔵本・出したい本・etc、ノウチ〔アンケ

三田新聞学会

七月 1 印象に残った能ノウチ

謡曲界 四一―一

謡曲界発行所

五月 1 与謝野寛氏の追憶

一八六―一八九

紀伊国屋出版部

22 外国語・翻訳思想〔三〕外語侵入と日本語

東京朝日新聞

1 喜多六平太論

三八一―四七

真理 一―五

9 外国語・翻訳思想〔四〕万葉にも翻訳の香

東京朝日新聞

1 翻訳難

一〇―一二

文芸春秋社

23 外国語・翻訳思想〔四〕万葉にも翻訳の香

東京朝日新聞

10 吉村冬彦氏著

三田新聞

三田新聞学会

七月 1 印象に残った能ノウチ

謡曲界 四一―一

謡曲界発行所

10 気に入った自著・愛蔵本・出したい本・etc、ノウチ〔アンケ

三田新聞学会

七月 1 印象に残った能ノウチ

謡曲界 四一―一

謡曲界発行所

五月 1 与謝野寛氏の追憶

一八六―一八九

紀伊国屋出版部

22 外国語・翻訳思想〔三〕外語侵入と日本語

東京朝日新聞

1 喜多六平太論

三八一―四七

真理 一―五

9 外国語・翻訳思想〔四〕万葉にも翻訳の香

東京朝日新聞

1 翻訳難

一〇―一二

文芸春秋社

23 外国語・翻訳思想〔四〕万葉にも翻訳の香

東京朝日新聞

10 吉村冬彦氏著

三田新聞

三田新聞学会

七月 1 印象に残った能ノウチ

謡曲界 四一―一

謡曲界発行所

10 気に入った自著・愛蔵本・出したい本・etc、ノウチ〔アンケ

三田新聞学会

七月 1 印象に残った能ノウチ

謡曲界 四一―一

謡曲界発行所

- 1 かけす・翡翠 (ハドソンの Birds in Town & Village の抄訳)  
野鳥 二一七 梓書房
- 10 書窓サロン 「書信」ノウチ 二六―二九  
書窓 一―四 アオイ書房  
三〇六  
現代 一六―八 大日本雄弁会講談社
- 八月 1 勇敢な坊主 五二―五四 三田新聞  
2 羨ましがられさうな話 三田新聞  
五 三田新聞学会
- 九月 1 「烏頭」の一曲 一―四 野鳥 二一九 巢林書房  
1 四十代、五十代 三二―三三 週刊朝日 二八一―〇 朝日新聞社  
1 清岡瑛一氏英訳の『福翁自伝』 四〇―四三 三田評論 四五七号 三田評論発行所  
一〇月 1 中央公論想ひ出集ノウチ \*一七八 中央公論 五〇―一〇 中央公論社  
1 内田魯庵君 一五一―一八 セルパン 五六 第一書房  
1 再び絢爛の「烏頭」を観る 七七一―七九 謡曲界 四一―四四 謡曲界発行所  
1 ユウモアの福沢諭吉 四四五―四五二 日本評論 一〇―一〇 日本評論社  
10 自画像 (隨筆集) 四四五―四五二 第一書房
- 私の顔、老人、築地の憶出―少年梅吉君のこと―、憶ひ出の銀座、
- 老人の喜劇、六万円、コメデイ、エバクレムと白髪染、短刀をもつた男、倫理の先生、ライオンの笑顔、四十年前の「文学界」、非常時能楽、自然の大、伝統の花、軽い葛籠、ウソのやうな話、真冬の一夜の事、郊外の心中、思想の融合、漫談調子外れ、強きを助け弱きをくじく、米の飯、随想二つ三つ、笑・赤・剣難、大本山モンテエニユ、現代の吾が親子、意気、鴻南会の一夕、軍人きらひ、リヤ王の鑑賞点、野菜の趣味、赤城の黒檜山登攀、初めての謡ひの稽古、翻訳四十年 (翻訳とのなれそめ、島崎藤村君と「女学雑誌」、ほんやく不可能論、エマスの文章、イギリスの掃部守、シトエルズきやうだい)、どろ坊、鼠色、愚痴―パトラの評伝を書いて―、銀座の半世紀、鎌倉の一日、助さんと格さんとメリ・マクラレン、明治学院時代の憶出、私の喫煙、木菟の一日、門外漢の映画論、ユウトピアの話、一葉劇上演の際の事、文人きらひ、食を中心として、憶ひ出される先生方、翻訳難、喜多六平太論、講壇生活二十余年、与謝野寛氏の追憶、坪内先生に関する憶出、口上、外国語・翻訳思想―万葉集翻訳を耳にして―、ギルバート・ホワイトの事、ウオルトン伝の序、四十代・五十代、病床の小鳥、勇敢な坊主、風車小屋から  
\*「四十代・五十代」の『自画像』本文表題の実際の表記は、「四十代、五十代」である
- 10 冬柏山房抄ノウチ 越山荘  
鎌倉今昔の感 一八八―一九〇  
25 ウオルトン (研究社英米文学評伝叢書 10) 研究社  
一二月 1 私の崇敬する人物ノウチ (アンケート回答) 真理 一一―一



五九 全日本真理運動本部

1 花筐(大返し)の合評 得三氏近來の傑作(合評)

喜多 一三一—一

七—一四 喜多流謡本刊行会

1 三たび先生の道成寺を觀て 喜多 一三一—一

喜多流謡本刊行会

1 トマス・モアの人物と「ユウトピア」

英語青年 七四—三

一四 英語青年社

1 漱石先生の憶出 思想 一六二

一六五—一七四 岩波書店

8 早慶能を見る 三田新聞

五 三田新聞学会

10 書物を読まぬ私の一言 書窓 二—二

九二—九九 アオイ書房

一二月 1 響者の音楽拝聴

音楽雑誌フィルハーモニー 九—二

二六—二七 新交響楽団

昭和二十一年

一月 1 三井寺の合評 実氏会心の演出 喜多 一四—一

二八—三二 喜多流謡本刊行会

1 映画「沐浴」を見て 三田文学 一—一

二一〇—二二一 三田文学会

1 謡曲の翻訳 謡曲界 四二—一

五〇—五一 謡曲界発行所

1 賀状雑記 月刊文章 二—一

七四—七五 厚生閣

21 キップリングの死 上 時事新報

九 時事新報社

22 キップリングの死 下 時事新報

五 時事新報社

二月 1 中西悟堂新著「野鳥と共に」への諸家の書簡より

野鳥 三—二

二〇四 業林書房

20 女人交遊 文鳥 六

六〇—六六 関書店

20 荻の葉風(一) 文鳥 六

六七—七一 関書店

20 亡友帖(六) 秋生 六

七三—七六 関書店

20 編集後記 文鳥 六

八四 関書店

三月 20 山高時代の憶出(一)

時事新報

\*6回連載

21 山高時代の憶出(2) 時事新報

九 時事新報社

21 高橋是清自伝 大阪朝日新聞

七 大阪朝日新聞発行所

- 22 山高時代の憶出(3) 時事新報 一八一—一九 喜多流謡本刊行会
- 24 山高時代の憶出(4) 時事新報 七 英語青年 七五—四 英語青年社
- 25 山高時代の憶出(5) 時事新報 九 三笠書房
- 26 山高時代の憶出(6) 時事新報 八 時事新報社
- 28 寒冒の床にて 冬柏 七—四 冬柏発行所
- 四月 1 世阿弥とシェイクスピア 文学 四—四 岩波書店
- 1 花の修善寺 多磨 二—四 アルス
- 20 明治二十四年以後 学鏡 四〇—四 丸善株式会社
- 21 をなが 読書感興 一—二 双雅房
- 五月 1 新しく入学する方々に 作品 七—五 作品社
- 1 謡は心を暢気にさせるか 謡曲界 四二—五 謡曲界発行所
- 1 羨ましく思つた事 雄弁 二七—五 大日本雄弁会講談社
- 1 「求塚」の追憶 喜多 一四—六 喜多 一四—六
- 15 質疑応答(読者への回答) 英語青年 七五—四 英語青年社
- 17 随筆読本ノツチ 現英文壇のエッセイ 一—一九 三笠書房
- 25 小鳥の英文学(翻訳) 南部地方の禽鳥(リチアード・ジェフリズ)、かけす・翡翠(W・H・ハドスン)、ファロオドン小品から(グレイ子爵) 夢のやうな私のドイツ文学へ若き頃のゲーテ文学への回想(ブルンネン 三 冬柏発行所
- 28 尾崎先生の講演を聴く 三五—三八 冬柏 七—七 慶應義塾独逸文学会
- 1 約半世紀に亘る交誼 一三二—一三五 文学 四—八 岩波書店
- 1 慶應能楽研究会主催 梅若素謡会 謡曲界 四三—二 謡曲界発行所
- 2 鑑山奇談(E・A・ポオの原著の翻訳) 鋸山奇談、長方形の箱 \*大正11年刊のアルス版とは別版。 春秋社
- 12 マコレイ論文集(春秋文庫第三部)(翻訳) \*昭和8年2月春秋社版と同一版型、ただし巻末「歴史論」のみ削除 東京堂月報 三一—八
- 15 私の書物についての変つた話 東京堂月報 三一—八

九月 1 ビュウトア山路ふみ子 四一五 東京堂  
モダン日本 七一九

3 明治大正文豪研究ノワテ 六九一七〇 モダン日本社  
新潮社

5 夏の乱想 一九二二 喜多 一四一〇 喜多流謡本刊行会

15 杉森先生を憶ふ 二二三 英語青年 七五一二 英語青年社

22 書籍無選択(一) 七 大阪朝日新聞 大阪朝日新聞発行所

23 読書放任(二) 一七 大阪朝日新聞 大阪朝日新聞発行所

一〇月 1 Leveの事 一七 英語青年 七六一一 英語青年社

1 旅で見た月 すばらしかつた月ノウチ(アンケート回答) 一三〇一三二 日本旅行倶楽部

10 朝食前のレセプション 四二一四三 333 一一一 スタア社

15 粟野先生の長逝 二四 英語青年 七六一二 英語青年社

20 短歌文学全集 与謝野晶子篇 月報ノウチ 第一書房

与謝野さん一家を語る

\* 原本未見のためページ数不明。昭和12年発行の随筆集「朝食前のレセプション」に収録

21 養子 頁表記なし アサヒグラフ

一月 1 天鼓 二四一二七 真理 二一一一 東京朝日新聞発行所

1 随想二題 葵上、花の精 六六一七一 謡曲界 四三一五 謡曲界発行所

1 ビュウトアのその後 一〇一一二 作品 七一 作品社

1 「もめん随筆」を読んで 七一一七三 東陽 一一七 作品社

1 市井の此事 五一六 反響 五八号 巢林書房

14 拝外と排他(一) 六 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

15 拝外と排他(二) \*5回連載 七 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

16 拝外と排他(三) 七 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

17 拝外と排他(四) 七 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

18 拝外と排他(五) 七 東京日日新聞 東京日日新聞発行所

20 平田禿木訳「釣魚大全」

大阪毎日新聞

七

大阪毎日新聞社

二月1 トーキョー 葵上 試写会評(合評、談)

謡曲界 四三—六

五二—五九

謡曲界発行所

1 統制の芸術五番組み合せ

謡曲界 四三—六

八四—八八

謡曲界発行所

1 名人の芸(世阿弥の言)

喜多 一四—一三

二—四

喜多流謡本刊行会

1 書道感

書道 六一—

一四—一六

泰東書道院出版部

15 Funny Burneyと一葉さん

英語青年 七六—六

二〇—二一

英語青年社

31 著者に聞く一九三六年ノウチ(アンケート回答)

書窓 三一—六

六一〇(通巻)

アオイ書房

昭和十二年

一月 1 昭和十二年度喜多会例会能 番組に就いて 諸家の意見ノウチ

喜多 一五—一

一九 戸川明三

喜多流謡本刊行会

1 北平の友より(書簡)

六

三田新聞

三田新聞学会

10 能楽鑑賞

謡曲界

鑑賞

特徴ある世界的芸術、謡曲の翻訳、能楽の第一義、国産芸術、非常時能楽、能楽雑談、深味の芸術、謡曲の写実、謡曲のエロ、統制の芸術五番組み合

隨筆

夏の想乱、初めての謡ひの稽古、日本精神と謡曲及び能楽、漫談調子外れ、後藤得三さんを語る、世阿弥とシエイクスピア、謡は心を暢気にさせるか、半病人の失態、早慶能、名人の芸——世阿弥の言

喜多六平太論

礼讃、性情、生ひ立、芸道

感想

再び絢爛の「鳥頭」を観る、班女、天鼓、葵上、花の精、本三番目もの、自然居士、三たび六平太氏の道成寺を観て、求塚の追憶、梅若素謡会

15 小泉八雲全集 第八巻(大谷正信、田部隆次共訳)(翻訳)

戸川明三

第一書房

耳無芳一の話(一七九—一九四)、貉(二二九—二三二)、葬られたる秘密(二四七—二五二)

\*大正15年7月版(第七巻)の改版

25 排外と排他—葵上の映画化など—

能楽画報 三二—一二

一七一—一八

能楽書院

\*目次表記は「排外と排他」

27 自叙伝の面白さ

東京日日新聞

- 二月 1 合評会 昭和十二年 宗家稽古初めの福引(合評会) 五 東京日日新聞発行所
- 2 1 喜多 一五―二 喜多流謡本刊行会
- 3 1 岡倉先生の追憶 二―七 英語青年 七六―九 英語青年社
- 4 19 今の学生は―― 五 三田新聞 三田新聞学会
- 5 3月 1 十代の憶出 五―七 雑記帳 二―三 綜合工房
- 6 19 取つておきの話(上) 七 東京日日新聞 東京日日新聞発行所
- 7 \*3回連載 東京日日新聞 東京日日新聞発行所
- 8 20 取つておきの話(中) 一一 東京日日新聞 東京日日新聞発行所
- 9 21 取つておきの話(下) 一七 東京日日新聞 東京日日新聞発行所
- 10 28 ワビスケ 二―三―二四 冬柏 八―四 冬柏発行所
- 11 五月 1 私の読書法 四 日本読書新聞 日本読書新聞社
- 12 9 泡鳴君の墓石(1) 七 東京朝日新聞 東京朝日新聞社
- 13 \*3回連載 東京朝日新聞 東京朝日新聞社
- 14 10 泡鳴君の墓石(2) 東京朝日新聞
- 15 11 泡鳴君の墓石(3) 九 東京朝日新聞 東京朝日新聞社
- 16 15 Shakespeareを見なほして 一七―一八 英語青年 七七―四 英語青年社
- 17 20 漱石の読書と鑑賞(佐藤春夫編著)ノッチ 四一九―四四一 謡曲界 四四―六 謡曲界発行所
- 18 1 最近の映画かきのぞ記 一〇〇―一〇二 婦人画報 四〇〇 婦人画報社
- 19 15 東西の見方考へ方 二―六 文芸懇話会 二―六 文芸懇話会
- 20 25 教壇学徒らしき「英米文学随筆」読完新聞 五 読完新聞社
- 21 1 ハウスマンのヴィクトリア・レギイナ 四三―四五 書物展望 七―七 書物展望社
- 22 1 帝国芸術院 能楽界の人選ノッチ(アンケート回答) 八八―八九 謡曲界 四五―一 謡曲界発行所
- 23 1 謡曲物語 国栖 一一八―一二五 謡曲界 四五―一 謡曲界発行所
- 24 \*昭和14年7月1日まで22回掲載

- 5 無駄の弁 ラヂオ講演・講座 第六輯 日本放送協会  
五四―五六
- \*記載内容は『ラヂオ講演・講座』総目次による。昭和13年発行の随筆集『朝食前のレセプション』に収録  
太平洋上夢幻の境地 通信の知識 一一一 通信博物館  
一一―一三
- 8月 1 謡曲物語 熊坂 謡曲界 四五―二  
四二―四九 謡曲界発行所
- 1 ハウスマンと野口君との交渉 英語青年 七七―九 英語青年社  
一五―一六
- 1 伊東から今井の浜へ 文学 五―八 岩波書店  
一一―一四
- 1 待合の追悼会 三田文学 一一―八 三田文学会  
九八―一〇二
- 1 諸家題名集(三十七)〔筆跡〕 書物展望 七―八 書物展望社  
扉
- 1 名士回答ノウチ〔アンケート回答〕 温泉 八―八 日本温泉協会  
四六―四七
- 20 小泉八雲全集 第九巻 戸川明三 第一書房  
神国日本
- \*昭和2年5月版(第八巻)の改版  
九月 1 謡曲物語 隅田川 謡曲界 四五―三 謡曲界発行所  
二一―二九
- 1 松野奏風君の「私の能舞台」 謡曲界 四五―三 謡曲界発行所  
八四―八五
- 1 マンスフィールドとマリイの結婚するまで 三田文学 一一―九 三田文学会  
一三四―一四一 鳩てる子 三田文学会
- 1 一番勉強した時代、或は私の読書法 真理 三―九 全日本真理運動本部  
三八
- 10 将官の読書 九 東京朝日新聞  
九 読売新聞 東京朝日新聞社  
四 多磨 五―四 読売新聞社  
一〇月1 菜食 六四―六七 アルス  
六四―六七
- 1 秋の夜の追憶(緑雨君の訪問) 新潮 三四―一〇 新潮社  
八五―八七
- 1 謡曲物語 巴 一四四―一五一 謡曲界発行所  
一四四―一五一 雑記帳 二―九 綜合工房
- 1 夏の読書の心覚え 二四―二七 謡曲界 四五―五 謡曲界発行所  
一一月1 謡曲物語 自然居士 八六―九三 謡曲界発行所  
二四―二七
- 1 名流寸筆ノウチ〔アンケート回答〕 謡曲界 四五―五 謡曲界発行所  
五四
- 3 愛恋無限 二五―二七 読書感興 二―三 双雅房  
二五―二七

15 読書の眼ノウチ

帝国大学新聞社出版部

翻訳四十年 二二六―二三七

一二月 1 誌上出版記念会 能楽筆壇ノウチ

「ユウトピア」、キップリングの死、平田禿木君訳『釣魚大全」、シェイクスピアを見なほして、無駄の弁、待合の追悼会、女人交遊、萩の葉風、伊東から今井の浜へ、羨ましいと思つた事、「大帝の密使」を見て

謡曲界 四五―六

六五

謡曲界発行所

1 謡曲物語 景清

謡曲界 四五―六

昭和十三年

一〇〇―一一〇

謡曲界発行所

一月 1 ウソ(嘘)

多磨 六一―

7 『桜井』を観る

喜多 一五一―二二

六四―六七

アルス

三四―三五

喜多流謡本刊行会

1 謡曲物語 鉢木

謡曲界 四六一―

20 朝食前のレセプション(随筆集)

第一書房

1 「若い人」とその映画 九八一―〇九

謡曲界発行所

養子、十代の憶出、取つておきの話、銀座、花の修善寺、ワビスケ、拝外と排他、自叙伝の面白さ、山高時代の憶出、「今の学生は……」、明治二十四年以後、感冒の床にて、羨ましがられさうな話、ピュウトア山路ふみ子、古典の外国語訳、約半世紀に亘る交誼、与謝野さん一家を語る、内田魯庵君、漱石先生の憶出、泡鳴君の墓石、ユウモアの福沢先生、高橋是清翁自伝、小泉一雄氏の

1 能楽について

一八四―一八七

三田文学 一三一―

三田文学会

『父「八雲」を憶ふ』、杉森先生を憶ふ、栗野先生の長逝、岡倉先生の追悼、「烏頭」の一曲、天鼓、をなが、お正月風景、市井の些事、ピュウトアのその後、朝食前のレセプション、私の書物についての変つた話、『もめん随筆』を読んで、太平洋上夢幻の境地、尾崎先生の講演を聴く、最近の映画かきのぞ記、東西の見方考へ方、書道感、書籍無選択、新しく入学する方々に、秀才教育・凡才教育、萌え出づる力、夢のやうな私のドイツ文学、フランク・ハリス、エドモンド・ゴス氏の『父と子』、グレイ子爵の文集、ハ

5 結婚披露 六三―七四

三十日 一一―

日本評論社

ウスマンの『ヴィクトリア・レギナ』、トマス・モアの人物と

18 註文をつけるノウチ(アンケート回答)

二〇四―二〇五

文芸春秋 事変・第六増刊

文芸春秋社

新装(きもの随筆)ノウチ

花の美・肌の美・服装の美

三六一―三八

野田書房

喜多六平太閑談(インタビュー)

文芸春秋 一六一―二

文芸春秋

文芸春秋社

謡曲物語 弱法師

一〇三―一一〇

謡曲界 四六一―二

謡曲界発行所

文芸春秋 事変・第六増刊

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋社

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋社

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋社

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋社

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋社

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋社

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋

文芸春秋社

- 25 「国民精神総動員」への力強い示唆 和辻氏の「面とペルソナ」  
日本読書新聞  
一八四 博文館
- 28 上田先生  
三  
日本読書新聞社  
冬柏 九一三  
冬柏発行所
- 28 贅沢、無精、空想  
一〇一一二  
東京朝日新聞  
東京朝日新聞社  
六月 1 新鹿沢から小梅線を  
七  
多磨 六一六  
帝国大学新聞社  
帝国大学新聞社  
アルス
- 三月 1 存りし日の雪鳥さんを俎上に追憶の座談会  
喜多 一六一三  
喜多流謡本刊行会  
四七一六四  
大黒柱倒る  
四〇一四一  
謡曲界 四六一三  
謡曲界発行所
- 四月 1 老人  
三〇一三二  
真理 四一四  
全日本真理運動本部  
謡曲界 四六一四  
謡曲界発行所
- 7 読書隨筆（大草実編）ノウチ  
二〇五一二二  
矢の倉書店
- 1 謡曲物語 熊野  
一三四一四一  
謡曲界 四六一四  
謡曲界発行所
- 1 英国気質是非  
四五一四八  
英語研究 三一―一  
研究社
- 3 春の受験風景  
一八一一九  
週刊朝日 三三一―一七  
朝日新聞社
- 15 英語教養  
一六一一七  
英語青年 七九一二  
英語青年社
- 五月 1 珍型生徒  
一六一一七  
新青年 一九一七
- 1 謡曲物語 船弁慶  
一八四  
謡曲界 四六一五  
謡曲界発行所
- 1 文学の輸出入  
八〇一八七  
帝国大学新聞  
帝国大学新聞社
- 1 文学的角度から能と謡を語る座談会（座談会）  
\*目次は「小海線」  
一六一二五  
喜多 一六一六  
喜多流謡本刊行会
- 1 謡曲物語 邯鄲  
一〇三一―一〇  
謡曲界 四六一六  
謡曲界発行所
- 1 小鳥の声 花の色  
一四  
新風土 一一―一  
小山書店
- 1 舞台の享楽と女性  
三四一三六  
東宝 五四号  
東宝発行所
- 1 謡曲物語 実盛  
一〇八一―一〇一六  
謡曲界 四七一―一  
謡曲界発行所
- 5 友を語る（相馬基編）ノウチ  
「存じ候」第一歩  
三九三―三九九  
大阪毎日新聞社・東京日日新聞社
- 15 夏のプランノウチ  
六  
三田新聞  
三田新聞学会
- 28 明治文学界への考察  
七九一八四  
月刊文章 臨時号  
厚生閣



八月 1 謡曲物語 海人

謡曲界 四七―二  
謡曲界発行所  
一〇五―一一五

4 松枝茂夫訳「周作人随筆集」(「近読感銘の書」ノウチ)

読売新聞  
読売新聞社

13 夢の水・式根島

東京日日新聞  
東京日日新聞発行所

15 小宮豊隆氏の夏日漱石

三田新聞  
三田新聞学会

九月 1 本多顕彰君の「文学の知識」

作品 九―九  
作品社

1 努力・修行

喜多 一六―九  
喜多流謡本刊行会

1 謡曲物語 天鼓

二七―二九  
謡曲界 四七―三  
謡曲界発行所

19 「わが旅の記」吉田絃二郎氏著

八四―九二  
東京朝日新聞  
東京朝日新聞社

26 戦争文学雑感

一―五  
帝国大学新聞  
帝国大学新聞社

28 政治家の頭

七  
東京日日新聞  
東京日日新聞発行所

一〇月 1 靴下の穴

三六―三八  
観世 九―一〇  
観世会

1 私の推薦する図書ノウチ

文芸春秋 一六―一七  
五〇  
文芸春秋社

1 飯田町に舞台の出来た前後へ六平太先生にものを聞く会(Ⅰ)  
(座談会)  
喜多 一六―一〇  
喜多流謡本刊行会  
三四―四〇

\* 原本奥付では刊行月日は9月1日となっているが、前後の号から考えて10月1日号と思われる

1 謡曲物語 烏頭

一二四―一三二  
謡曲界 四七―四  
謡曲界発行所

一二月 1 エマソン論文集 Ⅰ(翻訳)  
歴史論、自恃論、報償論、靈法論、恋愛論、友情論  
岩波書店

1 飯田町に舞台の出来た前後へ六平太先生にものを聞く会(Ⅱ)  
(座談会)  
喜多 一六―一一  
喜多流謡本刊行会

1 謡曲物語 紅葉狩

三四―三八  
謡曲界 四七―五  
謡曲界発行所

1 謡曲物語 鶴

九六―一〇四  
謡曲界 四七―六  
謡曲界発行所

1 葉書隨筆

一一二―一二〇  
文芸 六一―二  
改造社

1 英文学のアングロ・ノオマン時代

二一七  
学苑 五一―二  
光葉会

4 平田秀木君へ

一四―一八  
読売新聞  
読売新聞社

14 明治の文学(月刊文章編輯部編)ノウチ

二(第一夕刊)  
厚生閣  
明治文学界への考察 七九―八四

20 神国日本 (翻訳)

第一書房

一〇一—

日本英文学会

\* 昭和7年版の改訂版。「戦時体制版」と銘うっている。昭和7

28 チャールズ・ラムの読書観

書窓 七—

アオイ書房

年版にある秋骨(明三)のあとがきはなく、奥付の後に長谷川巳之吉による「戦時体制版の宣言」が掲載されている

三月 1 三月の随筆

八—一

月刊文章 五—三

厚生閣

27 「近世日本と孔子」内田銀蔵、和辻哲郎氏の著(書評)

1 謡曲物語 小袖曾我

三八—三九

読売新聞

二(第一夕刊)

読売新聞社

15 エマスン論文集 II (翻訳)

九八—一〇五

読売新聞社

昭和一四年

一月 1 安いホルダーで

(煙草は何をお喫ひですか、大陸へおでかけになりますか)

ノウチ (アンケート)

22 明治文学の興味へ劇・映画に再登場した樋口一葉(上)へ

五(夕刊)

東京日日新聞

二六

月刊文章 五—一

厚生閣

23 明治文学の興味へ島崎藤村の預けた黒鞘の懐剣(下)

五(夕刊)

東京日日新聞

1 旭日昇天の文字

五六—五八

喜多

喜多流謡本刊行会

四月 1 能楽の大黒柱

一一—一二

東京日日新聞

\* 合本によって確認したので、刊行日、巻号数不明、ただし?

月号は2月1日発行。また「毎月1日発行」とあり

1 女性時評

二—二四

作品 一〇—四

観世会

1 謡曲物語 安宅

一三四—一四六

1 謡曲物語 羽衣

一六六—一七五

東京朝日新聞

16 薄田泣菫全集 随筆篇(書評)

四

1 謡曲物語 羽衣

一六六—一七五

東京朝日新聞社

1 謡曲物語 俊寛

一〇八—一一七

五月 1 緑

四八—五〇

謡曲界 四八—五

アルス

二月 1 謡曲物語 俊寛

一〇八—一一七

謡曲界 四八—二

1 左近氏の早世

四八—五〇

謡曲界 四八—五

謡曲界発行所

25 JOHNSON 伝を中心として

英文学研究 一九—一

一九—二〇

謡曲界発行所

5 飯田町時代 喜多 一七一—五カ

22 作品と装幀 三六一—三九 喜多流譯本刊行会

28 贈りもの 六 帝国大学新聞

28 贈りもの 四一—五 冬柏 一〇—五 冬柏発行所

六月 1 謡曲物語 道成寺 一—二—二二 謡曲界 四八—六 謡曲界発行所

15 エマスン論文集 Ⅲ〔翻訳〕 岩波書店

七月 1 謡曲物語 殺生石 一〇七—一二二 謡曲界 四九—一 謡曲界発行所

1 さげ(酒) 〔学想美随筆〕ノウチ 科学ペン 四—七 科学ペンクラブ

八月 1 The Bluestockings 九四—九五 科学ペンクラブ

5 峠(深田久弥編)ノウチ 一〇—一四 英語青年社

十国峠・龍坂峠・長尾峠 三三一—三四四 英語青年社

\*「自然・気まぐれ・紀行」収録の「豆相一日の快走」の改題 英語青年 八一—一一(戸川 秋骨追悼号)

九月 1 無題 秋骨追悼号)

25 現代文章規範(菊池寛編著)ノウチ 一—、一—四 英語青年社

長岡懐古 一七四—一七六 非凡閣

一〇月 10 永遠の都(世界大衆文学名作選集 第十四卷)〔Hall Caineの原著の翻訳〕 改造社

昭和一五年 九月 10 エリア隨筆〔翻訳〕 岩波書店

一一月 15 新日本謡曲物語 謡曲界発行所

鉢木、弱法師、熊野、自然居士、海人、殺生石、隅田川、邯鄲、巴、景清、鳥頭、船弁慶、天鼓、紅葉狩、実盛、安宅、鶴、熊坂、羽衣、俊寛、道成寺、小袖曾我

昭和一六年 二月 20 食後の散歩〔隨筆集〕 第一書房

提灯をつけてシェイクスピアの光を、或る日のピイプス、安本と植木、臆測から臆測へ、佐藤氏訳す小泉先生の「尖塔登攀記」、明治文学への考察、外国語・翻訳思想(万葉集翻訳を耳にして)、新

鹿沢から小海線を、ウソ(嘘)、四十、五十代、教壇学徒らしき(日高只一著「英米文学隨筆」)、太平洋上夢幻の境地、雑誌「温泉」への解答、英語教養、将官の読書、サア・トマス・モア、声、

菜食、カラス電車、愛恋無限、夏の読書の心覚え、秋の夜の追憶(緑雨君の訪問)、女態様々、結婚披露、幼年時代、薄のろ、中河

の受賞作(透谷賞非難に答へる)、「若い人」とその映画、老人、逆、手紙、ストレイチイ氏の「エリザベスとエセックス」、弁疏、

書物の寄贈とその批評、「排他」と「拝他」、和辻氏の「面とベルソナ」、贅沢・無精・空想、再びカラス電車、不良老年、追憶と注文と、今昔学生気質、語学教育の問題、英国気質是非、春の受験風景、ハウスマンと野口君との交渉、舞台の享楽と女性、文学の輸出入、友を語る、虚偽の言葉、夏場所の番附を見て、目に青葉、小鳥の声・花の色、本多顯彰君の「文学の知識」、夢の水・式根島、未見への憧憬、吉田絃二郎氏著「わが旅の記」、戦争文学雑感、文芸時評、今年の夏、温泉日記から、エマズンカーアライルとの比較、半世紀前の学院風景、「近世の日本」と「孔子」、食味礼讃、京都への手紙（石田憲次教授へ）、チャアルズ・ラムの読書観、忙しい生活・忙しい旅、美しい言葉・良い表現、真実にしてウソの事、JOHNSON伝を中心として、三月の随筆、女性時評、一葉さんとの交誼、小話五則、雅号の由来、明治文学の興味「大阪弁」、The Bestockings

〔付記〕  
この著作目録作成に当たりましては、戸川家の御遺族の方々を始め、左記の図書館、研究機関に格別のご助力、ご協力を賜りました。この場で改めて、深謝申し上げます。

昭和十七年  
四月 15 樋口一葉研究（和田芳惠編）ノック 新世社  
一葉女史の追憶 三八六―三九〇

20 神国日本（田部隆次と共訳）（小泉八雲の翻訳） 第一書房

\* 昭和7年11月版の改訂版

昭和二十二年

三月 1 糟糠の妻を持って余して（遺稿） 芸林間歩 二一三

六一八 東京出版株式会社

一〇月1 うらわか草（遺稿） 芸林間歩 二一七

日本近代文学館 神奈川近代文学館 国立国会図書館 通信博物館 富士見市立図書館 都立中央図書館 目黒区立八雲中央図書館 目黒区立中目黒図書館 横浜市中央図書館 金光図書館 三康図書館 吉野作造記念館 山口県立山口図書館 奈良県立図書館 山口大学図書館 香川大学付属図書館 天理大学付属天理図書館 静岡大学付属図書館 神奈川県立外語短期大学図書館 昭和女子大学近代文庫 法政大学能楽研究所 東京大学法学部明治新聞雑誌文庫 早稲田大学図書館 慶應義塾大学図書館 日本大学文学部図書館 聖心女子大学図書館 北海道大学付属図書館 国立劇場図書館 国立能楽堂図書館閲覧室 十四世喜多六平太記念能楽堂  
（順不同）